

# 京都市内遺跡立会調査概報

平成13年度

2002年3月

京都市文化市民局

## ごあいさつ

京都は、世界に誇る貴重な歴史遺産に恵まれた大都市であります。市内の埋蔵文化財包蔵地には、年代ごとに幾層にもわたり積み重ねられた歴史の重みをもつ遺跡が数多く存在しております。

これらは、我が国の歴史や文化の成り立ちを知ることができる国民共有の財産であり、将来にわたって保存していかなければなりません。

近年、土木工事等による開発行為は、これらの埋蔵文化財に少なからず影響を及ぼしておりますが、こうした状況の中で、保存と開発との調整を適切に行い、先人から引き継いだ貴重な財産を後世に伝承していくことが、現代に生きる私たちに課せられた責務であります。

さて、この度、平成13年度に本市が文化庁の国庫補助を得て実施した埋蔵文化財調査の結果をまとめた概要報告書を作成致しました。調査のうち、試掘調査は京都市埋蔵文化財調査センターが実施し、発掘調査及び立会調査は、財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託し実施したものであります。

各調査の実施に当たりまして、御理解と御協力を賜りました市民の皆様をはじめ、御指導・御助言を賜りました関係機関の皆様へ深く感謝申し上げますとともに、本報告書が京都の歴史を知るための一助として、お役に立てば幸いに存じます。

平成14年3月

京都市文化市民局長

中野 代志男

## 例 言

- 1 本書は京都市文化市民局が財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施した、文化庁国庫補助事業に伴う平成13年度の京都市内遺跡立会調査概要報告である。
- 2 本書の編集は菅田薫を中心に、堀内寛昭、モンベティ恭代、吉本健吾が調整・作成実務を担当した。
- 3 各報告については文末に執筆者を記した。
- 4 写真撮影は、遺物を村井伸也と幸明綾子が担当し、遺跡は調査担当者が行った。
- 5 遺物復元・彩色は村上勉、出水みゆきが担当した。
- 6 本書で用いた土壌色名は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修の「新版標準土色帖」に準じた。
- 7 個々の調査地での計測値は、基本的に宅地の場合は仮の「水準点」を±0mとし、道路の場合には現行道路面を地表面（±0m）としている。
- 8 調査一覧表では各時代の「時代」は省略しており、調査日については簡略に記しているものもある。遺跡名は平安宮・平安京跡、長岡京跡については、官衙・条坊を優先した。
- 9 なお、本書を作成するにあたって、木簡の判読は井上満郎・西山良平・吉野秋二の各氏に御教示いただいた。
- 10 本書で使用した地図は京都市長の承認を得て同市発行の都市計画基本図（縮尺：1/2,500）を複製して調整したものである。  
都市計画基本図は、縮尺を調整して以下のものを使用した。

平安宮・京跡 図版1～13 8,000分の1（衣笠山、船岡山、花園、聚楽廻、御所、山ノ内、壬生、三条大橋、西京極、島原、五条大橋、中河原、梅小路、京都駅）

その他の遺跡 図版14～28 10,000分の1（岩倉、西賀茂、幡枝、三宅八幡、鷹峯、植物園、松ヶ崎、北嵯峨、宇多野、衣笠山、船岡山、相国寺、田中、大覚寺、鳴滝、花園、聚楽廻、御所、吉田、大文字山、太秦、山ノ内、三条大橋、岡崎、五条大橋、清水寺、安祥寺、中河原、梅小路、京都駅、今熊野、山科、小山、岡新田、中山、川島、吉祥院、上鳥羽、勧進橋、稻荷山、勧修寺、大原野、石見、寺戸、久世、城南宮、竹田、大亀谷、醍醐、高塚山、栗生、向日町、久我、下鳥羽、丹波橋、桃山、長岡、羽束師、横大路、中書島、木幡池、神足、納所、向島、円明寺、淀）

各報告の「調査位置図」5,000分の1

図1 (聚楽廻)

図7 (聚楽廻)

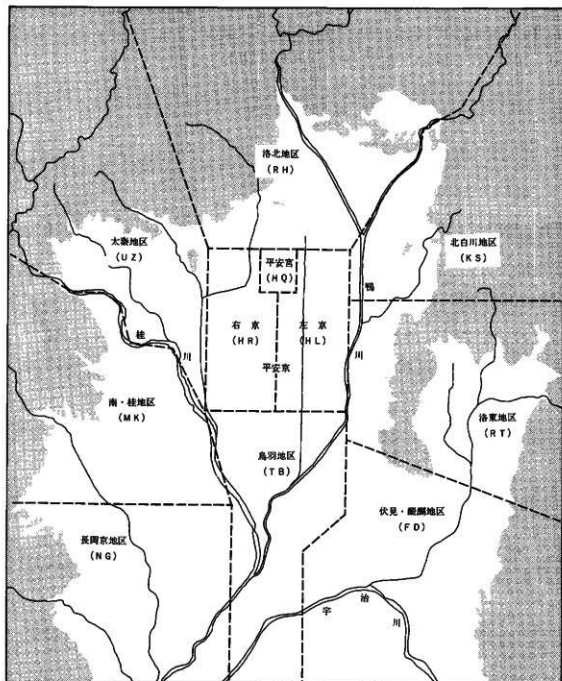
図15 (壬生)

図18 (五条大橋)

図22 (花園)

図27 (西京極)

図31 (久我)



地区設定概念図

# 本文目次

I	調査概要	1
II	平安宮・京跡	3
1	平安宮右近衛府跡、鳳瑞遺跡 (00HQ299)	3
2	平安宮右兵衛府跡・真言院跡・中和院跡、鳳瑞遺跡、聚樂遺跡 (01HQ11)	5
3	平安京左京五条二坊一町、妙蓮寺の構え跡 (01HL287)	8
4	平安京左京六条三坊七町、烏丸綾小路遺跡 (01HL14)	10
5	平安京右京一条四坊十一・十三町 (01HR125)	13
6	平安京右京六条四坊八町、西京極遺跡 (01HR207)	15
III	その他の遺跡	17
1	長岡京跡 (00NG259)	17
	調査一覧表	20
	報告書抄録	38

## 図 版 目 次

### 図版 1～28 調査位置図

- 図版 1 平安宮
- 図版 2 平安京左京北辺～三条 一・二坊
- 図版 3 平安京左京北辺～三条 三・四坊
- 図版 4 平安京左京 四～六条 一・二坊
- 図版 5 平安京左京 四～六条 三・四坊
- 図版 6 平安京左京 七～九条 一・二坊
- 図版 7 平安京左京 七～九条 三・四坊
- 図版 8 平安京右京北辺～三条 三・四坊
- 図版 9 平安京右京北辺～三条 一・二坊
- 図版 10 平安京右京 四～六条 三・四坊
- 図版 11 平安京右京 四～六条 一・二坊
- 図版 12 平安京右京 七～九条 三・四坊
- 図版 13 平安京右京 七～九条 一・二坊
- 図版 14 1 北野麁寺・北野遺跡・衣笠天神森古墳 2 雲林院跡 3 内膳町遺跡・一条室町殿跡・本満寺の構え跡・室町殿跡・相国寺旧境内・新町校地遺跡
- 図版 15 1 小倉町別当町遺跡・池田町古墳群・上終町遺跡・北白川廃寺  
2 岩倉忠在地遺跡 3 円成寺跡 4 一乗寺向畑町遺跡・一乗寺西浦畑町遺跡・渡辺館跡 5 植物園北遺跡
- 図版 16 1 福西古墳群 2 南春日町片山遺跡・大原野南春日町窯跡・安岡遺跡・大原野野田城跡・大原野神社遺跡
- 図版 17 1 史跡仁和寺御所跡 2 巽古墳・音戸山古墳群
- 図版 18 門田町遺跡・蛇塚古墳・和泉式部町遺跡・常盤東ノ町古墳群・村ノ内町遺跡・仁和寺院家跡
- 図版 19 岡崎遺跡・白河街区跡・法勝寺跡・尊勝寺跡・白河南殿跡・京都大学総合人間学部構内遺跡・京都大学構内弥生遺跡・京都大学本部構内遺跡・追分町古墳群・京都大学北部構内遺跡・北白川追分町縄文遺跡・田中構え跡
- 図版 20 法性寺跡・法住寺殿跡・六波羅政庁跡
- 図版 21 1 山科本願寺跡 2 日ノ岡堤谷須恵器窯跡 3 安朱遺跡 4 中臣遺跡・中臣十三塚・坂上田村麻呂墓伝承地 5 山科本願寺南殿跡

6 大塚遺跡

図版22 1 烏丸町遺跡 2 唐橋遺跡 3 下烏羽遺跡・芹川城跡 4 西飯  
食町遺跡・深草坊町遺跡・嘉祥寺跡・深草寺跡・深草遺跡

図版23 烏羽離宮跡・烏羽遺跡・上烏羽遺跡・上烏羽城跡

図版24・25 伏見城跡・桃陵遺跡・黄金塚1号墳

図版26 1 長岡京跡・上里北ノ町遺跡 2 長岡京跡

図版27 1 小野廂寺 2 長岡京跡 3 上久世遺跡 4 向島城跡 5 中  
久世遺跡

図版28 長岡京跡・東土川遺跡

図版29～30 主要な出土遺物

図版29 平安宮右近衛府跡、鳳瑞遺跡 (00HQ299)

平安京左京六条三坊七町、烏丸綾小路遺跡 (01HL14)

平安京右京一条四坊十一・十三町 (01HR125)

平安京右京六条四坊八町、西京極遺跡 (01HR207)

図版30 長岡京跡 (00NG259)

## 挿 図 目 次

<b>00HQ299</b>	
図1 調査位置図	3
図2 遺構位置図	3
図3 遺構断面図	3
図4 出土遺物実測図	4
図5 No.1地点南北溝	4
図6 No.2地点落込	4
<b>01HQ11</b>	
図7 調査位置図	5
図8 No.1地点遺構位置図	6
図9 No.2・3・4地点遺構位置図	6
図10 No.1・3地点遺構断面図	6
図11 No.4地点遺構断面図	7
図12 No.2地点路面	7
図13 No.3地点南北溝	7
図14 No.4地点南北溝	7
<b>01HL287</b>	
図15 調査位置図	8
図16 遺構位置図	8
図17 遺構断面図	8
<b>01HL14</b>	
図18 調査位置図	10
図19 遺構位置図	10
図20 遺構断面図	11
図21 出土遺物実測図	11
<b>01HR125</b>	
図22 調査位置図	13
図23 No.1地点遺構位置図	13
図24 No.2地点遺構位置図	13
図25 遺構断面図	14
図26 出土遺物実測図	14
<b>01HR207</b>	
図27 調査位置図	15
図28 遺構位置図	15
図29 遺構断面図	16
図30 出土遺物実測図	16
<b>00NG259</b>	
図31 調査位置図	17
図32 遺構位置図	17
図33 遺構断面図	18
図34 No.7地点湿地状堆積	18
図35 No.11地点柱穴	18
図36 出土遺物実測図	19

## 表 目 次

表1 立会調査件数	1
-----------	---



# I 調査概要

(財)京都市埋蔵文化財研究所では京都市文化市民局の委託を受けて、京都市内の遺跡を対象とした文化庁国庫補助事業による立会調査を実施している。本書では平成13年度概要報告として、2001年1月5日から3月30日までの平成12年度分と、同年4月2日から12月28日までの平成13年度分を合わせて報告する。調査件数は2001年1～3月期の平成12年度残り分が139件、4～12月期が297件であった。京都市内を便宜的に地区分けした調査件数は下表のとおりである。

地区	12年度1～3月	13年度4～12月	小計	地区	12年度1～3月	13年度4～12月	小計
平安宮(HQ)	23	58	81	南・桂地区(MK)	4	5	9
平安京左京(HL)	39	87	126	洛東地区(RT)	15	22	37
平安京右京(HR)	27	52	79	烏羽地区(TB)	2	15	17
洛北地区(RH)	5	25	30	伏見・醍醐地区(FD)	7	9	16
太秦地区(UZ)	3	7	10	長岡京地区(NG)	4	9	13
北白川地区(KS)	10	8	18	計	139	297	436

表1 立会調査件数

本年度の傾向としては減少が続いていた立会件数が前年度と比較して48件増加し、一昨年400件台に戻ったことである。昨年が55件も減少したのに比べ今年が増加に傾いたことは、この不況下に特筆に値する。また増加の48件分が都市部である平安京地区で増加している。

以下各地区の概要を述べる。

平安宮(HQ) 宮域では右近衛府跡、鳳瑞遺跡(00HQ299)、右兵衛府跡、真言院跡、中和院跡、鳳端遺跡、聚楽遺跡(01HQ11)の2件の概要を報告する。それ以外では、内舎人跡(00HQ352)で平安時代中期の遺物包含層、左馬寮跡(01HQ134)で平安時代の柱穴を検出しており、いずれも隣接地の今後の調査に期待が持たれる成果である。

平安京左京(HL) 左京域では五条二坊一町、妙蓮寺の構え跡(01HL287)、六条三坊七町、烏丸綾小路遺跡(01HL14)の2件の概要を報告する。それ以外では、平安時代の遺構は末期の溝を二条三坊十四町(01HL211)で検出している。同調査地では時期不明であるが東洞院大路の路面も検出している。鎌倉時代の遺構は猪隈小路の路面を八条二坊六町(01HL209)で検出している。時期不明ではあるが東京極大路の路面を三条四坊十三町(01HL184)で検出している。

平安京右京(HR) 右京域では一条四坊十一・十三町(01HR125)、六条四坊八町、西京極遺跡(01HR207)の2件の概要を報告する。それ以外では、弥生時代から古墳時代の遺物包含層を六条三坊六町(00HR18)で検出している。奈良時代の遺構は六条四坊十三町(01HR188)で土師器甕・高杯、須恵器杯が出土した遺物包含層を検出している。平安時代は三条一坊十一町(00HR203)で中期の三条坊門小路北側溝を検出している。

洛北地区(RH) 植物園北遺跡、衣笠天神森古墳、北野遺跡、北野麁寺、雲林院跡、相国寺旧境内、新町校地遺跡、室町殿跡、一条室町殿跡、内膳町遺跡、岩倉忠在地遺跡で調査を行った。顕著な調査成果はなかったが、植物園北遺跡で古墳時代の遺物包含層を2箇所(00RH214、01RH160)と平安時代中期の遺物包含層(01RH127)を検出している。北野遺跡(01RH12)では平安時代前期の遺物包含層を検出している。北野麁寺(01RH48)では飛鳥時代の落込を検出している。

太秦地区(UZ) 史跡仁和寺御所跡隣接地、音戸山古墳群、巽古墳隣接地、仁和寺院家跡、村ノ内遺跡、常盤東ノ町遺跡、和泉式部町遺跡、蛇塚古墳、門田町遺跡で調査を行った。顕著な調査成果はなかったが、巽古墳隣接地(00UZ291)で室町時代の遺物包含層を検出している。

北白川地区(KS) 一乗寺向畑町遺跡、一乗寺西浦畑町遺跡、渡辺館跡、田中構之跡隣接地、北白川麁寺、池田町古墳群、上終町遺跡、小倉町別当町遺跡、北白川追分町縄文遺跡、京都大学北部構内遺跡、京都大学構内弥生遺跡、京都大学総合人間学部構内遺跡、追分町古墳群、円成寺跡、白河街区跡、法勝寺跡、尊勝寺跡、白河南殿跡、岡崎遺跡で調査を行った。顕著な調査成果はなかったが、小倉町別当町遺跡(01KS249)で縄文時代中期の深鉢が出土した遺物包含層と平安時代末期の遺物包含層を検出している。

南・桂地区(MK) 上久世遺跡、中久世遺跡、福西古墳群、大原野南春日町竊跡、大原野神社遺跡、安岡遺跡、大原野野田城跡、南春日町片山遺跡、上里北ノ町遺跡で調査を行った。この地区では概要報告するような成果は得られなかった。

洛東地区(RT) 六波羅政庁跡、法住寺殿跡、法性寺跡、日ノ岡堤谷須恵器窯跡、安朱遺跡、山科本願寺跡、山科本願寺南殿跡、大塚遺跡、中臣遺跡、中臣十三塚、坂上田村麻呂墓伝承地で調査を行った。六波羅政庁跡、法住寺殿跡(00RT389)で方広寺大仏殿の礎石抜き穴を検出しており、次年度に報告する予定である。他に中臣遺跡(00RT368)で古墳時代前期の落込を検出している。

鳥羽地区(TB) 唐橋遺跡、烏丸町遺跡、上烏羽城跡、上烏羽遺跡、西飯食町遺跡、深草遺跡、鳥羽離宮跡、鳥羽遺跡、下烏羽遺跡、芥川城跡で調査を行った。顕著な調査成果はなかったが、西飯食町遺跡(01TB122)で平安時代から鎌倉時代の遺物包含層を検出している。

伏見・醍醐地区(FD) 深草坊町遺跡、深草寺跡、嘉祥寺跡、小野麁寺、伏見城跡、黄金塚1号墳、桃陵遺跡、向島城跡で調査を行った。この地区では概要報告をするような成果は得られなかった。

長岡京地区(NG) 長岡京跡と東土川遺跡で調査を行った。左京一条四坊五町(00NG259)の概要を報告する。

以上が本年度の立会調査の主要な調査の概要である。(菅田 薫・吉本健吾)

## II 平安宮・京跡

### 1 平安宮右近衛府跡、鳳瑞遺跡 (00HQ299)

#### 調査経過 (図1)

調査は、上京区御前通下立売上る二丁目中之町285番地での住宅建築工事に伴うものである。当地は平安宮右近衛府の西端に位置し、調査区西部では西大宮大路と東側溝(陸)が推定地にあたる。また古墳時代から奈良時代の鳳瑞遺跡の推定地にも位置している。

調査は2001年1月15日から18日まで4日間行い、平安時代の南北溝と落込を検出した。また遺物として「政所」と墨書された緑釉陶器を採集している。

#### 遺構 (図2・3・5・6)

基本層序は、約-0.4mの近世包含層の直下で平安時代の遺構が検出できる。地山は検出高のもっとも高いNo.2地点の-0.64mで褐色砂泥であった。

No.1地点の南北溝は、敷地中央部の南壁で西屑を検出した。-0.38mで幅1.12m以上、深さ0.77mを測る。東屑は室町時代の落込に切られるが、わずかに底部の立ち上がりが見られた。溝の最下層から平安時代前期の土師器椀・高杯

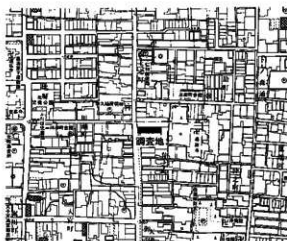


図1 調査位置図 (1:5,000)



図2 遺構位置図 (1:500)

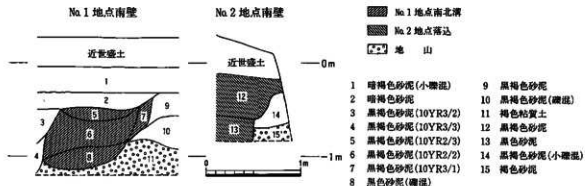


図3 遺構断面図 (1:40)

などが出土している。

No.2地点では落込を検出した。幅0.62m以上、深さ0.72m以上を測る落込の西屑である。埋土からは、平安時代前期の遺物が出土している。

またNo.3地点では、-0.08mで黒褐色砂泥の平安時代中期の包含層、-0.54mで黒色砂泥の平安時代前期の包含層を検出している。



#### 遺物 (図版29-1、図4)

今回の調査では、No.1・2地点の遺構から平安時代前期の遺物が出土している。No.1地点の溝では土師器高杯、No.2地点の溝では土師器皿・椀・杯・高杯、瓦が出土している。またNo.3地点からは、平安時代中期の包含層で土師器皿・甕、須恵器甕、緑釉陶器椀、平安時代前期の包含層からは土師器甕・椀・杯・高杯、須恵器甕・鉢、緑釉陶器皿が出土している。

このNo.3地点のあげ土からは、高台内に墨書を施した緑釉陶器椀

図4 出土遺物実測図(1:4) (1)を採集している。墨書は「政所」と記されている。

#### まとめ

今回の調査では、平安時代前期の溝と落込を検出したが、いずれも右近衛府内に位置し、西大宮大路東側築地(平安宮西限)推定線より東へNo.1地点が約9.2m、No.2地点が約5.5mとやや離れた地点で検出しており、右近衛府の施設に関連する遺構であると考えられる。

「政所」と記された緑釉陶器の椀であるが、この政所が右近衛府に関連するものかどうかは不明である。

(吉本健吾)

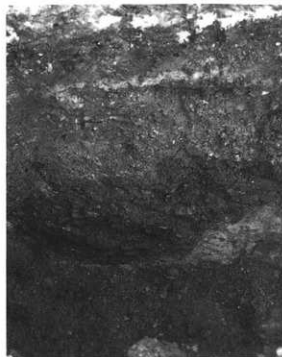


図5 No.1地点南北溝(北から)



図6 No.2地点落込(北から)

## 2 平安宮右兵衛府跡・真言院跡・中和院跡、鳳瑞遺跡、聚楽遺跡 (01HQ11)

### 調査経過 (図7)

調査は、下立売通の千本通から御前通の間と、御前通の下立売通から丸太町通の間の水道管理設工事に伴うものである。当地は平安宮の中和院の中央部から西へ真言院・右兵衛府を通り平安宮に隣接する西大宮大路を中御門大路まで南下するコースに位置し、また調査地の下立売通の御前通から七本松通の間が鳳瑞遺跡にあたる。

調査は2001年4月11日から開始し、本管掘削工事が終了する8月28日まで実施した。調査の結果、平安時代の溝と路面、鎌倉時代の溝、時期不明の溝を検出した。

### 遺構・遺物 (図8～14)

調査地の基本層序は、御前通では現代盛土、-0.2mで路面、-0.66mで近世の包含層、-1.02mで黄褐色系粘土の地山となる。下立売通の七本松通付近では-0.2mで時期不明の路面、-0.7mで褐色粘土の地山となる。遺構を検出した下立売通の七本松通から千本通の間では、下立売通から南に行ったNo.1地点以外では掘削深の-1.0mまでに地山を検出することはできなかった。

No.1地点の東西溝は、現代盛土直下の-0.45mで幅1.53m、深さ0.61mを測る。埋土は上下2層に分層でき、上層は灰黄褐色粘土、下層は黒褐色泥土で、0.03～0.05m大の礫を含む層である。下層から平安時代の平瓦が出土している。この地点は真言院西側の裏松原とよばれる空間地に位置する。

No.2地点の路面は、-0.78mで厚さ0.3mを測り、3層に分層できる。上層は厚さ0.05mで暗褐色砂泥に黄褐色粘土がブロック状に混じる。中層は厚さ0.15mで固く締った暗褐色砂泥である。下層は厚さ0.1mで固く締った極暗褐色砂泥である。上層から平安時代後期の丸瓦が出土している。平安時代の瓦を包含している路面の層は西へ約11.5mの地点でも検出しており、共に推定の中和院と真言院の中間の空間地にあたる。

No.3地点の南北溝は-1.12mで幅0.54m以上、深さ0.05m以上の落込の東肩を検出した。西肩



図7 調査位置図 (1:5,000)

は幅1.0mの攪乱墳によって破壊されている。埋土は粘質の暗褐色砂泥で時期不明の土師器が出土している。この地点は推定の中和院西側築地ラインの西へ約2.3mに位置し、築地の西側溝と考えられる。

No.4地点の南北溝は-1.17mで幅2.6m、深さ0.32mを測る。埋土は黒褐色砂泥で鎌倉時代の土師器皿、瓦器鍋、瓦が出土している。この地点は中和院の中に位置している。

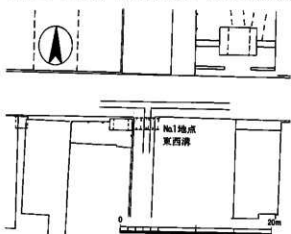


図8 No.1地点遺構位置図(1:500)

なお路面は調査区全域で8箇所検出している。内、御前通で2箇所検出している路面は、いずれも下層から近世の包含層を検出しており、近世以降のものである。下立売通では6箇所検出しているが、前述のNo.2地点とその西11.5mの地点の2箇所以外の路面は遺物が確認できず時期不明である。

#### まとめ

今回の調査では、御前通および下立売通の七本松通以西は近世の包含層直下で地山となるが、

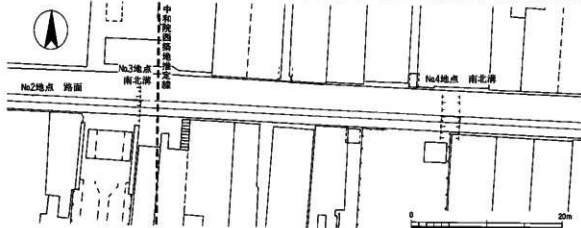


図9 No.2・3・4地点遺構位置図(1:500)

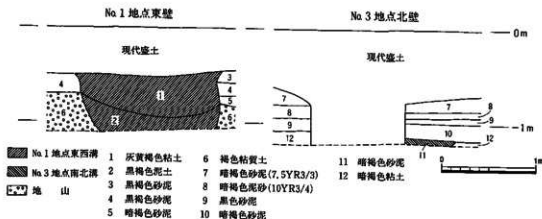


図10 No.1・3地点遺構断面図(1:40)

七本松通以東で平安時代の溝と路面、鎌倉時代の溝、時期不明の溝を検出している。

Na 1 地点の平安時代の溝は、宴松原の南東隅、真言院の西側約10.5mに位置する。この溝は東西方向で延長上に真言院が位置している。位置的に見て宴松原および真言院に関連する遺構と考えられる。

Na 2 地点の平安時代の路面は、中和院と真言院の間に位置することから、この中間地の路面と考えられる。

このNa 2 地点からNa 1 地点の間は、平安時代の瓦が出土しているが、過去の調査においても立売通南側の勝巖院境内の調査で大量の瓦が出土しており、真言院に伴うものと考えられる。

Na 3 地点の南北溝は、中和院西側築地ラインの西側約2.3mに位置し、溝の時期は特定できていないが位置関係から築地の西側溝と考えられる。

Na 4 地点の鎌倉時代の南北溝は、中和院の中に位置しており、中和院が失われた以後の遺構と考えられる。  
(吉本健吾)

註 「平安宮真言院跡推定地発掘調査概要」『京都市埋蔵文化財年次報告—1975』京都市文化観光局文化財保護課 1976

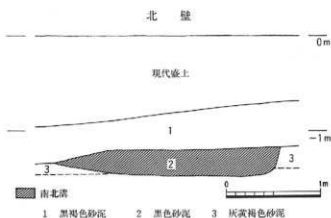


図11 No 4 地点遺構断面図 (1:40)

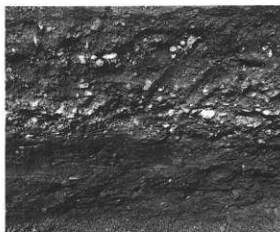


図12 No 2 地点路面 (南から)



図13 No 3 地点南北溝 (南から)



図14 No 4 地点南北溝 (南から)

### 3 平安京左京五条二坊一町、妙蓮寺の構え跡 (01HL287)

#### 調査経過 (図15)

下京区四条通黒門下る下り松町165番地のマンション建築工事に伴う調査である。当地は平安京左京五条二坊一町の南西に位置する。妙蓮寺の構え跡とされる推定範囲は、平安時代の一町とほぼ同じ大きさで、概ね重なっているが、西へ約40mずれている。これまでの立会調査ではこの町の東北部で鎌倉時代前期の遺物を多量に含む土壌が検出され、風字硯(灰軸陶器)が共伴出土している。同じく町の中央北端からは平安時代の溝・土壌、室町時代の土壌が検出されている。

調査は2001年12月3日から10日まで行い、室町時代後期の柱穴を1基検出した。

#### 遺構・遺物 (図16・17)

調査地は、ほぼ全域が旧建物の基礎により破壊を受けており、近世以前の土層を確認できたのは、調査地西側の隣地との境界部分のみであった。

柱穴を検出した地点も西壁の北から1.7mの地点である。層序は、近現代盛土層直下-1.4mで江戸時代後期の包含層、-1.8mで褐色粘土の地山、この地山を切るように鎌倉時代後期の落込が北から南へ下っている。

柱穴はこの落込を切って検出した。幅0.6m、深さ0.53mで、柱莖の径が約0.16mである。柱穴全体に炭が含まれ

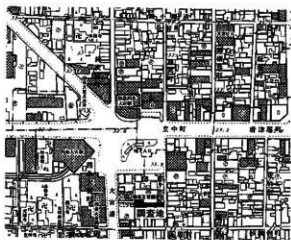


図15 調査位置図 (1 : 5,000)

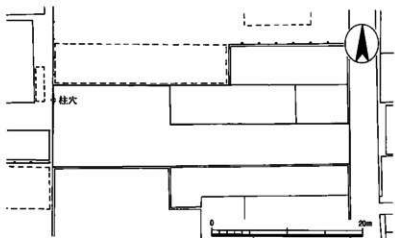


図16 遺構位置図 (1 : 500)

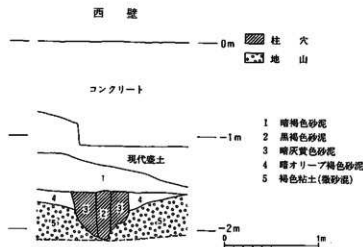


図17 遺構断面図 (1 : 40)



ている。また掘形の部分からは室町時代後期の土師器皿が出土している。なお、これに続くと考えられる柱穴を調査したが、北側は1.7m先の北壁までは存在せず、南側はすでに工事用擁壁が組まれ、西側は隣地にあたり、東側も旧建物の基礎でいずれも確認することができなかった。

#### ま と め

妙蓮寺は、法華宗の寺院で鎌倉時代の永仁三年（1295）に五条西洞院の酒屋柳屋仲興の邸内に建立され、後に破却され室町時代中期の応永三十四年（1427）に、今回の調査地にあたるこの地に建立された。京の法華宗門二十一ヶ寺が延暦寺衆徒に破却されるという史上有名な「天文法華の乱」(1536)で襲撃をうけ、天文十三年(1544)に大宮元誓願寺通に再興、その後天正十一年(1583)に秀吉の命で現在地の上京区妙蓮寺前町に移されて、現在に至っている<sup>註3</sup>。

今回、検出した室町時代後期の柱穴は1基のみであり規模や性格などは不明であるが、埋土に炭が混入していることや出土遺物の年代などから、この「天文法華の乱」による火災で倒壊した建造物の柱と考えられる。(堀内寛昭)

- 註1 吉村正親「平安京左京五条二坊」『昭和56年度 京都市埋蔵文化財調査概要(試掘・立会調査編)』  
(財)京都市埋蔵文化財研究所 1983
- 註2 「調査一覧表」『京都市内遺跡試掘立会調査概報 昭和58年度』京都市文化観光局 1984
- 註3 「妙蓮寺」『京都市の地名』平凡社 1979

#### 4 平安京左京六条三坊七町、烏丸綾小路遺跡 (01HL14)

##### 調査経過 (図18)

下京区五条通新町東入東筋屋町167、167-1、169番地のマンション建築工事に伴う調査である。当地は平安京左京六条三坊七町の南西部に位置し、南端部は六条坊門小路北側溝の推定地にかかっている。また、平安時代中期には中務卿具平親王の「千種殿」の本邸があったと推定される地であり、この千種殿が存在していた仁平三年(1153)と元久二年(1205)には、左京六条三坊全域に火災があったとの記録『明月記』もある。

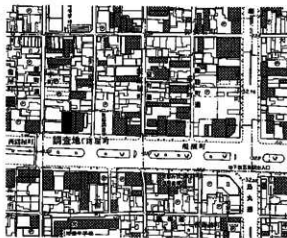


図18 調査位置図 (1:5,000)

この町の東南部における試掘調査では平安時代後期から江戸時代までの六条坊門小路の路面および側溝が検出されている。発掘調査では平安時代中期・後期、鎌倉時代、室町時代それぞれの六条坊門小路および北側溝が検出されている。



図19 遺構位置図 (1:500)

調査は2001年4月13日から20日まで行い、平安時代中期の溝、室町時代中期および後期の溝、室町時代後期の土壌、江戸時代の包含層を検出した。

##### 遺構 (図19・20)

No.1地点では-1.56~ -1.88mまで近現代盛土が堆積し、この深さから3条の東西溝を検出した。遺構年代の新しい順に番号を付した。

溝1は幅1.22m、深さ0.58mで、室町時代後期の土師器皿、丸底鉢、瓦質有孔磚、須恵質陶器甕・鉢、瓦器羽釜、瀬戸灰釉陶器オロシ皿、輸入陶磁器(青磁・白磁)が出土した。

溝2は-1.98mで溝1に切られ、幅0.32m以上、深さ0.36mである。室町時代中期の土師器皿・甕、灰釉陶器碗が出土した。

溝3は暗灰黄色細砂の地山を切って、南側へ下がる北肩部分を検出した。幅0.53m以上、深さ0.22mである。平安時代中期の土師器皿・甕、灰釉陶器碗が出土している。

このNo.1地点は、六条坊門小路北築地推定線より南へ溝1が約0.6m、溝2が約0.38m、溝3が約1.82mで北肩を検出している。

No.2地点では-1.2mで黒褐色砂泥(炭混)の包含層を検出した。江戸時代前期の土師器皿、土

製小壺（ツボツボ）、肥前染付磁器椀、唐津椀が出土している。-1.65mで幅0.6m、深さ0.34mの土壌の北肩を検出した。室町時代後期の土師器皿が出土している。-2.0mで幅1.5m以上、厚さ0.1mのやや締ったオリブ褐色粘質土の整地層を検出した。ある程度の範囲に広がる様相をみせる。時期については遺物が含まれていなかったため不明である。

**遺物** (図版29-2・3・5~7、図21)

溝1の出土遺物のうち少量ながら実測可能なものを一括遺物として挿図化した。

(2) 赤色系土師器皿である。内面底部は一方方向のナデ、内面体部から外面口縁下部までを回しナデ調整。外面口縁下部から底部にかけては指痕が目立つオサエで、この部分からやや外反する。腰部器壁は極めて薄く、口縁はのたれ気味にめぐる。口径8.9cm、器高1.9cm。

(3) 赤色系土師器皿である。成形技法は(2)とほぼ同じである。口径9.5cm、器高2.2cm。

(4) 白色系土師器皿である。成形技法は(5)とほぼ同じであるが、外面体部中央部分のナデとオサエの境目は隆起させずならかである。口径13.2cm、器高3.3cm。

(5) 白色系土師器皿である。内面は底部を一方方向にナデ、体部立ち上がりから口縁、および、外面体部中央までは回しナデ調整を施す。外面体部中央から底部にかけてはオサエである。ナデ・オサエとも丁寧に仕上げている。口径13.6cm、器高3.25cm。

(6) 丸底小鉢である。「製墨のための油煙

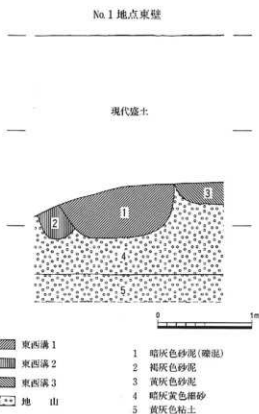


図20 遺構断面図(1:40)

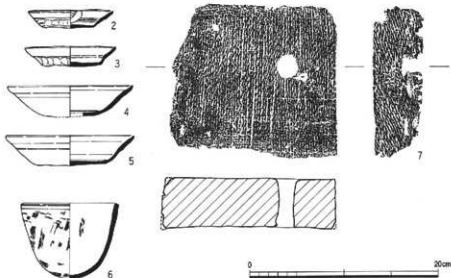


図21 出土遺物実測図(1:4)

煤を採取する道具」と考えられている。<sup>註3</sup>土師質で胎土は砂粒の少ない緻密な赤色系粘土である。成形技法は粘土紐による手づくねである。外面は粘土紐の接合跡を消すようにオサエ・ナデ・ハケメ調整が施され、底部には指頭痕が残る。内面にはわずかにハケメ痕が残る。二次的な痕跡としては、外面の底部および口縁に黒色煤の付着がみとめられる。内面には、器表に煤の吸着、不規則な針掻状の痕跡、口縁下部に黒色煤の付着、底部の回転掻き取り痕がみとめられる。器表全体が油煙の吸着と考えられる黒灰色を呈す。特筆すべき痕跡としては内面が極めて平滑なことである。仕上げ段階である程度平滑な調整を施したものと推測するが、それだけではなく、煤の掻き取り作業が繰り返されることによって煤の炭素が器表を磨滅させるためである、という。立会調査では初出である。口径10.3cm、器高8.05cm。

(7) 瓦質有孔甕である。表面および右側面は縄目タタキ、左側面には×印が対角線上に真直ぐに笠彫りされている。これまでの出土例のなかでは比較的大型に属する。残存長縦16.0cm、横18.3cm、最大の厚さ5.6cm、最小の厚さ5.2cm。

#### まとめ

No.1 地点で検出した溝1から3は六条坊門小路北築地推定線の南に位置することから、六条坊門小路北側溝に関連するものと考えられる。当調査地から50m東での発掘調査では、六条坊門小路は平安時代から室町時代前半までほとんど位置の変化はないが、室町時代後半の路面に関しては従来の溝を埋めて路面が拡張されていることが確認されている。<sup>註4</sup>このことから、溝3が平安時代の北側溝と考えられ、溝1・2と北側へ掘り変えたものと推定できる。ただし路面は検出できなかった。近世の遺構や攪乱によって削平された可能性が考えられる。

なお、平安時代中期の千種殿の遺構および仁平三年(1153)と元久二年(1205)に起きた左京六条三坊全域の火災痕跡については、今回の調査ではいずれも検出できなかった。

(堀内寛昭)

註1 長谷川行孝「平安京左京六条三坊七町跡」『京都市内遺跡試掘調査概報 平成3年度』京都市文化観光局 1992

註2 高橋 潔・平方幸雄・丸川義広「平安京左京六条三坊2」『平成2年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1994

註3 小森俊寛「丸底小鉢考」『リーフレット京都』No.133 (財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館 2000

註4 定森秀夫「平安京左京六条三坊七町」『京都文化博物館調査研究報告 第11集』京都文化博物館 1995

## 5 平安京右京一条四坊十一・十三町 (01HR125)

### 調査経過 (図22)

右京区花園寺ノ前町と太秦安井車道町の水道工事に伴う調査である。工区は、妙心寺通の南門前から丸太町通との交差点の間 (A) と交差点から南へ約130mの所に位置する宇多川を縦断する部分 (B) の2箇所である。A区が十一町と近衛大路、B区が十三町と無差小路に該当しているが、遺物を伴った遺構を検出したNa1・2地点はいずれもA区のみである。

当地域におけるこれまでの立会調査では、11世紀後半から12世紀後半にかけての井戸、土塀、落込などが検出されている。また、この北側の妙心寺境内における立会調査においても、平安時代の土塀、溝、井戸、池、柱穴など多くの遺構が検出されている。

調査は2001年7月17日から9月27日まで行い、平安時代末期の溝および鎌倉時代前期の遺物を伴う溝を検出した。

### 遺構 (図23~25)

Na1地点では、現代盛土が-1.1mまで堆積し、以下0.15mの厚さで時期不明の黒褐色粘質砂泥が堆積する。このレベルから幅0.25m、深さ0.2mの西側へ落ちる溝を検出した。遺物は平安時代末期の土師器皿と高杯が出土している。

Na2地点では、-0.4mで幅0.94m以上、深さ0.67m以上の北側へ落ちる溝を検出した。遺物は鎌倉時代前期の土師器皿、瓦器鍋、平瓦が出土している。

### 遺物 (図版29-8、図26)

今回の調査では、Na1地点の溝から平安時代末期の高杯が3点出土している。

(8) 胎土は淡黄白色で精良、砂粒が混じる。杯部および裾部は内外面ともいねいな回転ナ



図22 調査位置図 (1 : 5,000)

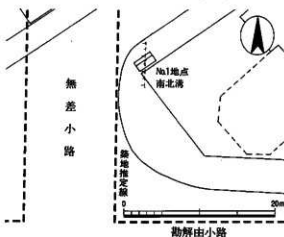


図23 Na1地点遺構位置図 (1 : 500)

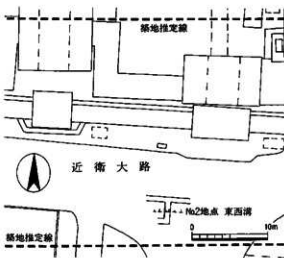


図24 Na2地点遺構位置図 (1 : 500)

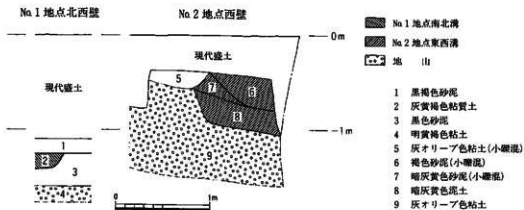


図25 遺構断面図 (1:40)

テ調整を施す。脚部は中位から下半を寛で13面に面取りし、上半は一部面取り痕が残るが手づくねでヒネリ、調整は行っていない。杯部口縁はやや外反し裾部の端部は内湾気味に立つ。杯部径12.65cm、裾部径9.45cm、高さ19.4cm。

(9) 杯部と脚部上部が残る高杯である。胎土は淡黄白色で、杯部外面から脚部にかけての一部に赤褐色の発色が認められる。砂粒の混じりが少なく緻密である。杯部は回転ナテ調整、脚部上位は手づくねによる右回しのヒネリ痕が残る。杯部と脚部の接合面の一部に間隙が残る。

(10) 裾部のみが残る欠片である。胎土は淡黄褐色で、砂粒が少量混じりやや粗目である。裾部内面外面とも回転ナテ調整であるが、外面はナテを消し、端部は外側に張り出させている。

#### まとめ

No.1 地点から検出した溝は一条四坊十一町の南、西端部に位置しており、出土した遺物などからも、無差小路東築地の内溝と考えられる。

No.2 地点で検出した東西溝は、近衛大路の南側築地推定線から北へ4.4mの位置にある。近衛大路の南側溝とするには北へ寄り過ぎているが、平安時代に使われていた溝を埋めて敷地を北側へ拡張したのち新たに掘られた溝という可能性がある。しかし、鎌倉時代前期の遺物が出土していることから、溝もそれほど永くは使用されなかったようである。(堀内寛昭)

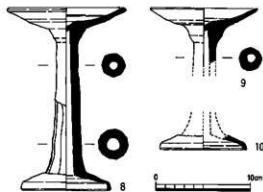


図26 出土遺物実測図 (1:4)

註1 平田 泰「平安京右京北辺四坊・一条四坊、法金剛院、四円寺跡」『昭和59年度京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1987

註2 平田 泰「平安京右京北辺四坊・一条四坊・妙心寺境内」『昭和58年度京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1985

## 6 平安京右京六条四坊八町、西京極遺跡 (01HR207)

### 調査経過 (図27)

調査は、右京区西院月双町86番地でのマンション建築工事に伴うものである。調査地は平安京右京六条四坊八町の南端の中央部にあたり、西京極遺跡の北部に位置する。この付近の調査では、調査地の南側で弥生時代中期の溝、南東約100m離れた地点で弥生時代の集落跡<sup>遺1</sup>を検出している。これらのことから関連する遺構の検出に期待がかかった。

調査は2001年10月1日から5日までで実施した。調査の結果、ビット2基を検出した。

### 遺構 (図28・29)

調査地の基本層序は、+0.05mで耕作土、-0.37mで平安時代中期の包含層、-0.61mで褐色粘土の地山となるが、地山の低い部分では-0.65mで古墳時代の包含層となる。遺構は調査地の北側で検出したが、調査地の中央部や南側では、平安時代の包含層も見られなくなり、全体に新しい時期に削平を受けているようである。

ビットは、1.05m離れて南北方向に2基検出した。南側のビット1は-0.64mで幅0.34m、深さ0.28mを測り、地山を掘り込んでおり、埋土からは古墳時代中期の遺物が出土している。北側のビット2は-0.65mで幅0.39m、深さ0.3mを測り、古墳時代中期の包含層を掘り込んで形成している。埋土からは奈良時代の遺物が出土している。

### 遺物 (図版29-11・12、図30)

今回の調査では、ほぼ完形の須恵器杯身が2点出土している。

(11) 須恵器杯身 ビット2からの出土である。高台をもたない平底形式で、体部は外反気味に立ち上がる。胎土は緻密で砂粒が混じり、体部下方に6mm角の石が露出している。胎土色調は灰白色を呈する。焼成は堅緻で内面底部の一部に自然釉がかかる。外面は、底部寛オコシ、体部

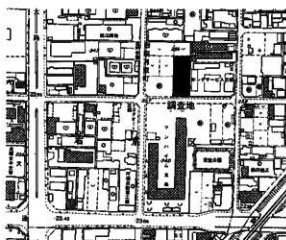


図27 調査位置図 (1 : 5,000)

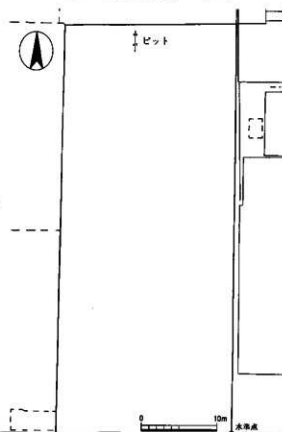


図28 遺構位置図 (1 : 500)

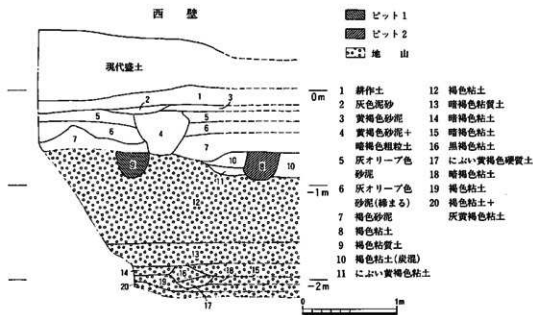


図29 遺構断面図 (1:40)

ヨコナデ、内面はヨコナデ調整を施す。内面底部は回転の指押圧による凹凸があり、中央部分は隆起する。回転は左方向。口径11.6cm、器高3.1cm。

(12) 須恵器杯身 ピット1からの出土である。受部から立ち上がりをもつ形式で、外面底部は丸みを帯び、内面中央が盛りあがる。胎土は緻密で砂粒が混じり色調は黒灰色を呈する。焼成は堅緻である。外面底部は寛ケズリ、受部の下部から立ち上がり部分はヨコナデ調整を施す。内面は全体にヨコナデ調整であるが、立ち上がり部分の接合部の一部にオサエ痕がわずかに残る。回転は左方向。口径11.4cm、器高5.2cm。

#### ま と め

今回の調査で検出した2基のピットは、埋土に含まれていた遺物がピット1では古墳時代中期、ピット2では奈良時代と時期差があり、同一の遺構とは言い難い。南東約100m離れた弥生時代の集落跡を発掘した地点でも不明確ながら古墳時代初期・後期の遺構が出土しており、集落居住区域の一部と考えており、当地もその一部に連なるものと考えられる。

(吉本健吾・堀内寛昭)

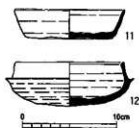


図30 出土遺物実測図 (1:4)

註1 1978年に京都市埋蔵文化財研究所によって調査、未報告。

註2 上村和直・西大悠哲「平安京右京六条四坊・西京極遺跡」『平成元年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1994



### III その他の遺跡

#### 1 長岡京跡 (00NG259)

##### 調査経過 (図31)

調査は、南区久世東土川町346-1番地で行われた工場建設工事に伴う立会調査である。当調査地は長岡京左京一条四坊五町の西側にあたる。また遺跡範囲には入っていないが、弥生時代から古墳時代にかけての集落跡の東土川遺跡に隣接する。

調査は2000年11月29日より12月1日まで行い、測量を2001年4月9日に行った。掘削工事の工法が約3m四方の掘削深約2mの壺掘りを調査地内12箇所に行うもので、全面を確認するには至らなかった。調査の結果、柱穴、湿地状堆積を検出した。

##### 遺構 (図32～35)

層位は現代盛土、耕作土、遺物包含層、地山となる。現代盛土は1.0mから1.21mの高さまでで、耕作土は0.05mから0.24mの厚さをもち、直下で古墳時代から弥生時代の包含層が確認できる。地山の一番高い地点はNa11で-1.41mを測る。

Na11地点で検出した柱穴は、耕作土直下-1.25mで弥生時代の包含層を切って検出した。幅0.85m、深さ0.65mで柱部分は最大幅が0.26mである。掘削の工法が壺掘りであったため、柱の並びを確認することはできなかった。柱穴の埋土からは弥生時代の甕が出土している。

土壇およびピットは、全部で5基検出している。弥生時代の土器が出土した遺構は、No.6地点のピットで幅0.13m、深さ0.13mを測る。他にNo.5・11・12地点で検出した土壇からも土器が出土しているが、いずれも小片であり時期の特定はできなかった。

弥生時代の湿地状堆積は、調査地の南東部分のNo.2・7・10地点で検出した。No.2地点では北壁で-1.82mで厚さ0.38mを測り、No.7地点では西壁で-1.71mで北へ0.18mから0.04mと厚みが薄くなっていく。No.10地点では南壁で-1.53mで幅0.8m、深さ0.11mの皿形の土壇状に検出した。



図31 調査位置図 (1:5,000)

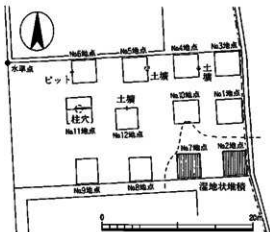


図32 遺構位置図 (1:500)

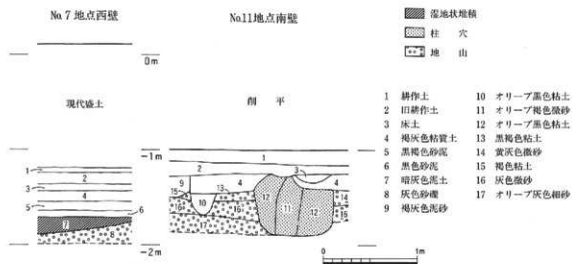


図33 遺構断面図 (1:40)

おそらくこの地点が、湿地状堆積の調査地内の北限になると考えられる。堆積層は暗灰色泥土で多量の弥生土器が出土している。

#### 遺物 (図版30、図36)

出土した遺物は弥生土器、古墳時代の土師器、須恵器、中世の土師器、瓦器などの土器類と石製品がある。古墳時代以降の遺物の量は少ない。ピット、柱穴からの出土遺物は少なく小破片のものが多い。湿地とみられる堆積層から比較的まとまって弥生土器が採集できた。出土した弥生土器は中期の時期に限られる。中期中葉は壺 (13・29) と甕 (14~16・26)、鉢 (20) がある。壺13は口縁端部が面をなし、梅描波状文を描く。内面には列点文が施され蓋受けとみられる凸起が2個並列する。29は壺の体部片で、8本の筋による直線文が7段と波状文が施されている。中期後葉の土器は壺 (28)、甕 (17~19・27)、鉢 (21・22)、高杯 (24・25)、器台 (23) がある。器台23は円形の透かしを4方向に穿った脚部片である。鉢21・22は体部上半に太い横線を施し、21は口縁端部にキザミを施す。

石製品にはサヌカイト剥片、図化していないが石包丁片と扁平片刃石斧 (30) がある。石包丁



図34 No.7地点湿地状堆積 (東から)



図35 No.11地点柱穴 (北から)

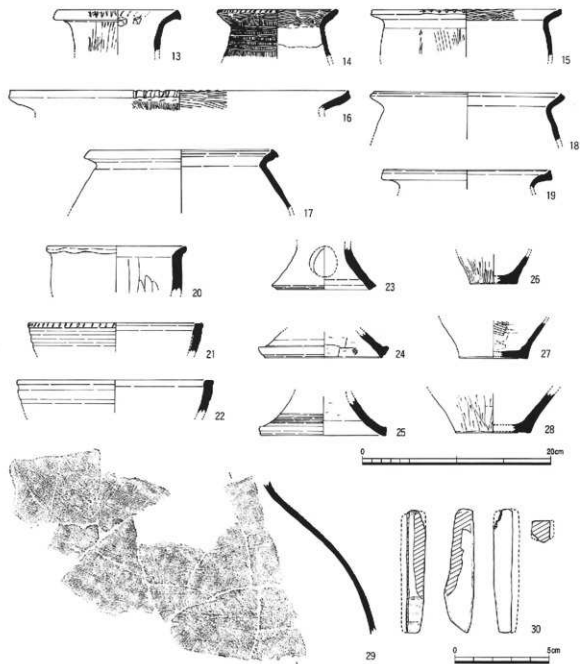


図36 出土遺物実測図（1：4、1：2）

は刃部の小破片で石材は粘板岩である。扁平片刃石斧30は小型のもので、裏面を欠損している。長さ6.6cm、最大幅1.6cm、現存する厚さ0.9cmを測る。上端は叩かれ丸みを帯び、全体によく磨かれている。頁岩系の石材と思われる。

#### まとめ

調査地は東土川遺跡の東約200mの位置にある。当該地周辺に於ける既往の調査では弥生時代から古墳時代の遺構・遺物の検出は無く、同時期の集落の展開を考えるうえで貴重な成果を得ることができた。

（吉本健吾・菅田 薫）

# 調査一覧表

I 2001年 1～3月期 (平成12年度)

## 平安宮 (HQ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
大藏省	上・仁和寺街道千本東入高西仲町465-1	3/2・5	-0.4mまで現代盛土。	HQ355	1
大藏省	上・淨福寺通一条下る東西後園町659-8-9	2/21・22	巡回時、工事終了。	HQ343	1
主殿	上・中立光通日暮東入新白水丸町462-19	3/28	-0.5m、時期不明の整地層。	HQ399	1
右近衛府	上・御前通下立売上る二丁目中之町285	1/15～18	平安前期の湧状遺構。本文3ページ。	HQ299	1
右近衛府	上・御前通下立売上る天満屋町310-6	1/25・26	+0.05m、時期不明の土層。	HQ310	1
富松原	上・六軒町通下長者町下る七番町328-6	3/15～21	-0.22mまで現代盛土。	HQ377	1
造福司	中・聚楽園松山下町12	2/20・21	-0.4mまで現代盛土。	HQ342	1
興業寮	中・聚楽園松山下町8-21	1/22	-0.15m、近代の包含層。	HQ304	1
朝堂院	中・聚楽園中町27-41	2/23	巡回時、工事終了。	HQ347	1
朝堂院	上・千本通下立売上る小山町908-18	3/30～4/4	-0.57mまで現代盛土。	HQ410	1
内舎人	上・丸太町通智光院西入中務町486	2/28, 3/1	-0.27m、平安中期の包含層(土師器、瓦)。	HQ352	1
内舎人	上・下立光通千本東入中務町486-14	3/26	-0.2m、近世の包含層。	HQ392	1
中務省	上・淨福寺通丸太町下る西入主税町1056	2/15-16	-0.46m、時期不明の包含層(土師器)。-0.58m、時期不明の包含層(土師器)。-0.69m以下、褐色粘質土の地山。	HQ332	1
陰陽寮	上・千本通二条下る東入主税町981, 981-1	3/27-28	-0.02m、近世の包含層。-0.32m、時期不明の整地層。	HQ397	1
大炊寮	上・丸太町通松屋町西入左馬松町780-3, 795-1	3/12～16	-0.48mで褐色粘質土の地山を切って平安後期の土層(土師器皿、平瓦)。	HQ372	1
御井	中・西ノ京車取町15-5 朱雀第六小学校	2/26	-0.65m以下、灰黄色細砂の地山。	HQ350	1
右馬寮	中・西ノ京馬寮町14-6-33-34の一部	3/2・5-8	-0.43m以下、灰黄色砂礫の地山。	HQ356	1
右馬寮	中・西ノ京馬寮町14-6-33-34の一部	3/2・5-8	-0.46m以下、灰オリーブ色砂礫の地山。	HQ357	1
兵部省	中・西ノ京内畑町21-4, 42-4	3/22-23	-0.32m以下、粘土混濁黄色砂礫の地山。	HQ385	1
兵部省	中・西ノ京内畑町30-15	3/1	巡回時、工事終了。	HQ354	1
判事	中・西ノ京馬寮町14-6-33-34の一部	3/2・5-8	-0.4m以下、灰オリーブ色細砂の地山。	HQ358	1
判事	中・西ノ京馬寮町14-6-33-34の一部	3/2・5-8	-0.5m以下、灰オリーブ色砂礫の地山。	HQ359	1
豊楽院・朝堂院	中・聚楽園南町地内	'00/12/7～'01/4/19	-0.92m以下、褐色砂礫の地山。	HQ270	1-9

## 平安京左京 (HL)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
北辺二坊 四町	上・葎屋町通中立売上る福大明神町110	3/15～21	No1: -0.1m、江戸末期の包含層。-0.64m以下、灰黄色粘質土の地山。No2: -0.83m、時期不明の包含層。-1.13m以下、暗褐色粘質土の地山。	HL376	2
北辺四坊 一町	上・京都御苑	'00/10/25～'01/1/22	No1: +0.24m、江戸末期の包含層(土師器皿)。No2: -0.4m、江戸末期の包含層(土師器皿)。No3: 0m、江戸末期の包含層(土師器皿)。	HL222	3
北辺四坊 二町	上・京都御苑	1/26	基壇の内側で花崗岩2段3石を確認。建物の基礎の北面と思われる。	HL312	3
一条三坊 七町	上・下長者町通堂町西入西慶司町14-3-4	1/30	-0.6m、江戸末期の瓦葺。	HL316	3
一条三坊 八町	上・堂町通上長者町下る清和院町555-1	3/21～26	No1: -0.2m、江戸末期の包含層。No2: -0.25m、時期不明の焼土層。	HL382	3
一条四坊 一町	上・京都御苑	1/22	-0.29m、江戸末期の焼土層。-0.7m、江戸末期の包含層。	HL305	3
一条四坊十四町	上・京都御苑	1/16	-0.35mまで現代盛土。	HL300	3
一条四坊十六町	上・京都御苑2 京都大宮・仙洞御所	3/6～4/10	No8: -0.12m、江戸末期の焼土層。-0.74m、江戸中期の焼土層。-0.8m、江戸前期の流れ堆積。No13: 基壇の基礎下で石垣を検出。	HL382	3
三条一坊 六町	中・西ノ京南ノ内町19-11	2/7-8	-0.4mまで現代盛土。	HL321	2

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
三条三坊 一町	中・並道二条下る上松屋町690-1	1/15-16	No 2 : -0.25m, 江戸後期の成土層。-0.45m, 鎌倉後期の包含層 (土師器、瓦器、軒平瓦)。-0.8 m以下、灰黄褐色砂礫の地山。	HL298	3
三条三坊 五町	中・衣櫛道三条衣櫛町～衣櫛道御池下る長浜町 地先	1/17～2/23	No 8 : -1.18m, 桃山の包含層 (土師器皿)。-1.32 m, 室町末期の包含層 (土師器皿)。No10 : -0.18 ~-0.88m, 跡面6。-1.41m, 江戸中期の包含層。-1.52m, 江戸前期の包含層。No13 : -1.51 m, 室町後期の包含層。	HL301	3
三条三坊 六町	中・御池通小川～御池通室町 地内	3/26～11/29	No 1 : -1.4m, 平安後期の包含層 (土師器皿)。-1.55m以下、褐色砂泥の地山。No11 : -0.63m, 平安後期の包含層 (土師器皿)。-1.04m以下、にぶい黄褐色砂泥の地山。西へ0.57m地点で平安後期の包含層及び地山を切って室町末期の土壇 (土師器皿、地壇陶器座、肥前陶器板)。No 12 : -1.31m, 室町後期の包含層 (土師器皿)。No18 : -1.49mで平安中期の包含層 (土師器皿) を切って平安末期の落込 (土師器皿、瓦)。	HL394	2-3
三条三坊十六町	中・丸九道二条下る秋野々町519-2, 車屋町通二条下る仁王門夾狭町312-3, 314-1	3/26～4/6	-1.12m, 鎌倉後期の包含層 (土師器皿)。-1.72 mで褐色砂泥の地山を切って鎌倉前期の落込 (土師器皿、羽釜)。	HL393	3
四条二坊 三町	中・権熊通錦小路上る下瓦町～権熊通三条下る御供町 地先	2/16～5/9	No 4 : -0.54m, 平安末期～鎌倉の土層 (土師器皿、輸入白磁碗)。-1.28m以下、褐色粘質土の地山。No 8 : -0.55m, 鎌倉後期の包含層 (土師器皿)。-0.69m以下、暗褐色粘質土の地山。No18 : -0.51m, 室町後期の包含層。-0.64m, 室町中期の包含層。No19 : -0.68m, 室町前～中期の包含層 (土師器皿)。-1.05m, 鎌倉後期の包含層 (土師器皿)。	HL335	4
四条二坊十五町	中・西洞院通納藻町下る古西町～三条通西洞院西入屋敷町 地先	2/21～3/28	-0.9mまで現代盛土。	HL344	4
四条三坊 三町	中・西洞院通納藻町下る古西町448, 錦小路通新町西入屋敷小路町247	3/7-26～28	-0.45mまで現代盛土。	HL367	5
四条三坊十一町	中・錦小路通室町東入古出山町309-1-2	1/18～24	No 1 : -1.8m, 平安中期の包含層 (土師器皿)。No 2 : -2.1m, 平安中期の包含層。-2.3m, 窪地状地壇。No 3 : -0.6m, 江戸後期の包含層。-0.78～-1.16m, 江戸中期の包含層3。-1.27m, 江戸前期の包含層。-1.88m以下、褐色砂礫の地山。	HL302	5
四条西坊 一町	中・三条通東洞院東入愛蔵町51, 高倉通三条下る丸屋町153	2/7-15-16	No 1 : -3.3m, 時期不明の落込。No 2 : -2.5m以下、灰黄褐色砂礫の地山。	HL323	5
四条西坊 一町	中・六角通高倉西入勝屋町183-2	3/29～4/9	No 1 : -0.98m, 室町末期の包含層 (土師器皿)。-1.16m, 室町後期の包含層 (土師器皿、陶器)。-1.52m, 室町中期の包含層 (土師器皿)。-1.9 m以下、暗褐色粘質土の地山。No 2 : -0.7m, 近世の包含層 (土師器、陶器)。-1.4m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。No 3 : -0.86m, 鎌倉前期の包含層 (土師器) を切って鎌倉後期の落込 (土師器)。-1.3m, 平安中期の包含層 (土師器)。-1.42mでこの層を切って平安末期の土壇 (土師器)。No 4 : -0.5m, 江戸後期の包含層。-0.78m, 江戸中期の包含層。-1.15m, 平安中期の包含層 (土師器)。	HL405	5
五条二坊 三町	下・黒門通錦小路下る丸屋町～高辻通川西入富永町 地先	'00/10/19～01/1/31	No 2 : -0.58m以下、にぶい黄褐色粘土の地山。No 3 : -0.4m以下、にぶい黄褐色砂礫の地山。No 4 : -0.89mで褐色砂泥の地山を切って室町前期の落込 (土師器)。No28 : -0.81m, 江戸初期の包含層 (土師器皿)。No29 : -0.94m, 江戸前期の包含層 (土師器皿)。	HL219	4

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
五条二坊十一町	下・仏光寺通堀川東入喜吉町154	2/23~3/5	No 1 : -0.9m, 時期不明の包含層 (土師器Ⅲ, 青磁)。-1.4m, 時期不明の包含層 (土師器Ⅲ, -1.75mで褐色砂泥の地山を切って室町~江戸初期の落込 (輸入陶器, 須恵質磁片, 唐津皿, 石製品)。No 3 : -0.96mでよい黄褐色粘質土の地山を切って時期不明の土壌 (土師器Ⅲ, 須恵器Ⅱ, 瓦)。	HL346	4
五条二坊十五町	下・西洞院通綾小路下る綾西洞院町751, 753	3/28, 4/2	-0.7m, 鎌倉後期の包含層 (土師器Ⅲ, 須恵器Ⅲ)。-0.93m以下, により黄褐色塵砂の地山。	HL400	4
五条三坊十一町	下・高辻通烏丸西入骨屋町329, 329-2-6	3/29~4/3	-0.2m, 江戸後期の包含層。-1.03m, 時期不明の包含層。-1.2m以下, 暗灰黄色砂礫の地山。	HL401	5
五条三坊十二町	下・松原通室町東入玉津島町311	'00/12/6~'01/2/8	No 1 : -0.3m, 江戸後期の土壌。-0.86m, 江戸初期の包含層。No 2 : -1.5m, 江戸後期の包含層 (土師器Ⅲ)。-2.5m, 江戸中期の包含層 (土師器Ⅲ, 三島青津大甕)。	HL264	5
五条三坊十五町	下・東洞院通綾小路下る扇酒屋町293-1-6, 297	3/27~4/5	No 1 : -1.3m, 室町前期の包含層 (土師器Ⅲ)。No 2 : -0.94mで黄褐色粗砂の地山を切って江戸後期の土壌。No 3 : -1.42m, 江戸後期の包含層。-1.7m, 江戸中期の包含層。-1.88m, 中世の包含層。-2.18m, オリブ褐色粗砂 (礫混) の地山。	HL398	5
五条四坊 二町	下・東洞院通綾小路下る扇酒屋町283-2	1/9-10	-0.23m, 江戸末期の地土層。	HL290	5
五条四坊 四町	下・東洞院通高辻下る遊地町563の一部, 岡之町通高辻下る稻初町529-5	3/12~4/2	No 1 : -0.16m, 江戸末期の包含層。-0.7m, 江戸中期の包含層。No 2 : -1.07m, 室町後期の包含層。No 3 : -1.13m, 地山の包含層 (土師器Ⅲ, 天目碗)。-1.68m, 室町後期の土壌 (土師器Ⅲ)。No 5 : -0.5m, 室町中期の包含層 (土師器Ⅲ, 瓦器)。-0.85m, 室町前期の包含層 (土師器Ⅲ, 瓦器)。-0.96m以下, 黄褐色砂礫の地山。No 6 : -0.15m, 江戸末期の包含層。-0.43m, 江戸後期の包含層。No 7 : -0.1m, 江戸末期の包含層。-1.23m, 室町前期の土壌 (土師器Ⅲ)。-1.45m, 時期不明の包含層 (土師器Ⅲ)。	HL371	5
六条一坊 二町	下・中堂寺坊城町9-3, 44-1-10の各一部	1/9-10-12	-0.75mまで現代盛土。	HL292	4
六条一坊 二町	下・中堂寺坊城町26-1, 光徳小学校	2/15	No 1 : -0.4m, 江戸後期の包含層。-0.62m以下, 褐色粘土の地山。No 2 : -0.6m, 鎌倉中期の包含層 (土師器Ⅲ)。-0.8m以下, 褐色粘土の地山。No 3 : -0.8m以下, 黄褐色粘土 (砂礫混) の地山。	HL329	4
六条三坊 八町	下・新町通松原下る富永町110-1	3/21~4/2	-0.27m, 江戸末期の包含層。	HL384	5
六条三坊 十町	下・五条通室町東入龍園町270-1他	2/19~4/13	No 2 : -0.84m, 室町の包含層 (土師器Ⅲ)。-1.28m, 鎌倉の包含層 (土師器Ⅲ)。No 3 : -1.07~-1.3m, 室町の包含層 2。	HL341	5
六条三坊十五町	下・万寿寺通烏丸東入大塚町480他	3/9~21	No 1 : -0.2m, 江戸後期の包含層。-0.78m, 室町中期の包含層 (土師器Ⅲ)。-1.9m以下, 褐色砂礫の地山。No 2 : -0.1m, 江戸末期の包含層。-0.85m, 室町前期の包含層 (土師器Ⅲ)。	HL370	5
六条四坊 一町	下・万寿寺通高倉西入万寿寺中之町83, 高倉通松原下る西入福田寺町53-1	2/16-19-20	-0.76m, 江戸末期の包含層。-0.88m, 江戸後一末期の窪地状堆積。-1.44mの窪地状堆積の最下層で石敷を抽出。	HL334	5
六条四坊 八町	下・松原通榎町西入杉屋町274, 榎町通万寿寺上る鍛冶屋町260-1	2/15-16-19	No 1 : -1.8m, 鎌倉中期の包含層 (土師器Ⅲ, 青磁碗)。-2.32mで灰色粘質砂を切って平安後期の落込 (土師器Ⅲ)。No 2 : -1.55m, 鎌倉中期の包含層 (土師器Ⅲ)。-1.9m以下, 灰黄褐色泥砂の地山。	HL330	5
六条四坊十四町	下・五条通河原町西入本覚寺前町818-3, 819	1/31~2/9	-1.13m, 室町後期の包含層 (土師器Ⅲ, 須恵器Ⅱ)。-1.43m, 室町中期の包含層 (土師器Ⅲ)。	HL317	5
七条一坊十四町	下・大宮通七条上る御膳屋町30	1/5-9	-0.68mまで現代盛土。	HL288	6

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
八条三坊 八町	下・七条通新町興之町723	1/11・12・15	№2：-0.83m、鎌倉前～中期の包含層（土師器層）。№3：-0.25m。室町後期の包含層（土師器層）。-0.57m。室町中～後期の包含層（土師器層）。	HL297	7
九条一坊 四町	南・八条内田町20-2 南大内小学校	'00/9/18～'01/4/11	-0.58mで暗褐色泥砂。-0.7mで暗褐色細砂を抽出。	HL179	6
九条二坊十二町	南・東九条松田町他 8箇町地内	3/1～8	№1：-1.0m。流れ堆積。№2：-0.67m、江戸末期の湿地状堆積。№3：-0.5m、江戸末期の包含層。	HL353	6

## 平安京右京 (HR)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
一条二坊十六町	中・北野中学校北側、住井通～西大路通地内	1/10～17	№1：-0.2m、江戸末期の包含層。-0.27m、江戸後期の包含層。	HR294	9
一条四坊 五町	右・花園車道町1 花園小学校	3/2・5～7	-0.28m、江戸末期の包含層。-0.46m、時期不明の包含層（土師器）。-0.52m以下、にぶい黄褐色砂礫の地山。	HR360	8
二条四坊十四町	右・太秦安井池田町20-4他 地内	1/25・29	-0.75m以下、明黄褐色砂泥の地山。	HR311	8
三条一坊十一町	中・西ノ京西月光町他 (御池通御前東入～七本松通)	'00/9/13～'01/1/11	№1：-0.2m、三条坊門小路の路面。№2：-0.55m、三条坊門小路の路面。	HR178	9
三条一坊十一町	中・西ノ京船場町～永本町 地先	'00/10/6～'01/1/17	№1：-0.24m、時期不明の路面。-0.3m以下、黄褐色砂泥の地山。№2：-0.22m、時期不明の路面。-0.3m以下、黄褐色砂泥の地山。№3：平安中期の三条坊門小路北側溝（土師器層・高杯、須恵器壺・壺、緑釉陶器碗、灰釉陶器碗、黒色土器碗、輸入青磁碗、瓦）。№4：-0.5m、平安中期の三条坊門小路北側溝（土師器層・壺・羽釜・高杯、須恵器壺・壺・碗、緑釉陶器碗、灰釉陶器碗、黒色土器碗、輸入青磁碗、瓦）。	HR203	9
三条一坊十五町	中・西ノ京西月光町他	1/11～2/8	-0.72m以下、灰白色砂泥の地山。	HR293	9
三条二坊 九町	中・西ノ京原町1-18-19	2/20～23	№1：-0.9m、江戸初期の包含層（土師器、白磁）。-1.4m、時期不明の湿地状堆積（土師器）。№2：-1.01m、江戸後期の包含層。-1.09m以下、褐灰色砂礫の地山。	HR339	9
三条二坊十六町	中・西ノ京中会町1 西京商業高校	2/13	調査地全域発掘調査済。	HR328	9
四条四坊 四町	右・西院四条畑町1-11・12、日照町57-1	'00/12/22～'01/1/9	-1.24～-1.68m、室町の包含層3（土師器層）。-2.0m以下、明褐色粘質土の地山。	HR287	10
五条二坊十一町	右・西院平町11	1/10～12	-0.47m、時期不明の薄込（土師器）。	HR295	11
六条一坊 一町	下・中堂寺北町1-1・2・47・49・51	2/19	-0.3mまで現代盛土。	HR338	11
六条二坊 三町	下・西七条東御前町24他、赤社町20-1他	1/19～2/20	-0.7mまで現代盛土。	HR303	11
六条二坊十一町	右・西大路通西側、五条通～中堂寺通地内	3/13～27	-0.24m、耕作土。	HR374	11
六条三坊 六町	右・西院西中水町他	'00/4/18～'01/8/13	№1：-0.72m、巻生～古墳の包含層（土器）。この層を切って時期不明の薄込。-0.9m以下、黄褐色粘土の地山。№2：-0.35m、平安前期の包含層（須恵器平皿）。	HR018	10-11
六条三坊十五町	右・西院久保田町6-7他	1/5・10～12	-0.97m、時期不明の薄込。	HR289	10
八条一坊 八町	下・朱雀高畑町38,39,40	1/24・25・30	№1：-0.27m、江戸末期の包含層（備前磁鉢）。-0.72m以下、灰黄褐色礫の地山。№2：-0.37m、江戸末期の包含層。	HR309	13
九条一坊 七町	南・唐橋門脇町35 八条中学校	3/7～14	-0.5m、耕作土。	HR366	13
九条一坊十二町	南・唐橋花園町4-14	3/27・28	-0.25m以下、流れ堆積。	HR396	13
九条一坊十五町	南・唐橋門脇町6-2	'00/11/14～'01/3/27	-0.35m、平安の包含層（須恵器）。-0.6m以下、黄褐色砂礫の地山。	HR239	13

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
九条一坊十五町	南・唐橋門脇町 地先	3/13-14	No.1 : -0.44m, 平安前期の包含層(土師器Ⅲ須恵器Ⅱ・杯蓋、瓦)。No.2 : -0.43m, 平安前期の落込(土師器Ⅲ、瓦)。	HR375	13
九条一坊十五町	南・唐橋門脇町6-5	3/19-22	-0.42m, 時期不明の包含層。	HR380	13
九条一坊十五町	南・唐橋門脇町6-3	3/23-27	-0.55mまで現代遺土。	HR386	13
九条一坊十五町	南・唐橋門脇町6-4	3/23-27	-0.55mまで現代遺土。	HR387	13
九条三坊 七町	南・吉祥院西ノ庄園ノ西町27	2/7	-0.45mまで現代遺土。	HR322	12
九条三坊十二町	南・吉祥院新田宅ノ段町5	1/29	-1.05m以下、流れ塚様。	HR315	12
九条四坊 十町	南・吉祥院内河原町13-17	3/30~4/6	-0.8m以下、にぶい黄褐色砂礫の地山。	HR409	12
九条四坊十二町	南・吉祥院新田歩ノ段町1	3/9-12	-0.57m以下、にぶい黄褐色砂礫の地山。	HR369	12

### 洛北地区 (RH)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
植物園北遺跡	北・上賀茂松本町地	'00/10/16~'01/5/22	-0.8m, 古墳時代の包含層(須恵器Ⅱ)。	RH214	15-5
北野遺跡 北野庵寺	北・北野上白梅町8	2/15-16	-0.5mまで現代遺土。	RH333	14-1
雲林院跡	北・大徳寺通、今宮通~北大路通他 地内	'00/11/27~'01/3/8	No.4 : -0.43m, 時期不明の包含層。-0.95m以下、褐色粘土の地山。No.5 : -0.2m, 江戸末期の包含層。No.17 : -0.59m, 江戸後期の包含層(土師器Ⅲ、備前器、瓦)。-1.27m以下、褐色粘質砂泥の地山。No.19 : -0.26m, 江戸後期の包含層。No.20 : -0.24m, 時期不明の包含層(土師器、瓦)。No.22 : -0.47m, 時期不明の包含層。-1.1m以下、褐色シルトの地山。	RH257	14-2
相国寺旧境内	上・室町通上立売上る東入柳園子町331	1/23~30	No.1 : -0.72m, 江戸後期の包含層。No.2 : -1.26m, 室町末期~桃山の包含層(土師器Ⅲ、埴)。No.3 : -0.23m, 江戸末期の包含層。-0.61m, 江戸前期の包含層(土師器Ⅲ)。-1.06m, 桃山の包含層(土師器Ⅲ)。No.4 : -0.38m, 江戸末期の包含層。-0.86m, 室町末期~桃山の包含層(土師器Ⅲ)。-1.1m, 室町後期の包含層(土師器Ⅲ)。	RH307	14-3
岩倉志在地遺跡	左・岩倉志在地町283-1	3/23~4/16	-1.22m以下、褐色粘質土の地山。	RH388	15-2

### 太秦地区 (UZ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
音戸山古墳群 巽古墳隣接地	右・鳴地音戸山町11-135 右・嵯峨広沢町~山崎賀町地内	3/30, 4/2 1/9~5/25	-0.03m以下、明褐色粘土の地山。 No.4 : -0.96m, 時期不明の包含層。No.28 : -0.4mで灰白色細砂の地山を切って、時期不明の土塚。-0.45m, 時期不明の落込。No.36 : -0.18m, 室町の包含層(土師器Ⅲ、瓦器羽釜)。-0.6m以下、褐色砂泥の地山。	UZ408 UZ291	17-2 17-2
村ノ内町遺跡 音倉東ノ古墳群 仁和寺院家跡	右・常盤東ノ町16-4の一部	3/30~4/3	No.2 : -0.68m, 江戸後期の包含層。No.3 : -0.6m, 江戸後期の包含層。	UZ407	18

### 北白川地区 (KS)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
一乗寺内庭遺跡 一乗寺西庭遺跡 渡辺館跡	左・一乗寺向畑町~一乗寺西庭畑町 地内	3/21~30	No.1 : -1.8m以下、灰黄褐色粗砂と白川砂の互層の地山。No.3 : -0.92m以下、にぶい黄褐色粗砂の地山。	KS390	15-4



遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図版
池田町古墳群	左・志賀地蔵、白川通東入～北白川天神宮 地内	1/22～2/20	-0.17m、時期不明の路面。-0.94m以下、黒褐色 色砂礫の地山。	KS306	15-1
北白川河内遺跡・ 藤原寺内遺跡・ 藤原寺外内遺跡・ 遠分町古墳群	左・北白川西町82-7他	3/7～15	№2：-0.22m、鎌倉後期の土層（土師器Ⅱ）。 -0.32m、鎌倉後期の包含層（土師器Ⅱ）。-1.0 m以下、明黄褐色細砂の地山。№3：-1.12m、 室町前期の包含層（土師器Ⅱ）。-1.45m以下、 灰黄褐色粗砂の地山。№4：-0.33m、鎌倉後 期の包含層（土師器Ⅱ、瓦）。-0.82m、鎌倉前 期の包含層（土師器Ⅱ、古瀬戸）。-1.7m以下、 にぶい黄褐色粗砂の地山。	KS365	19
京都大学構内 弥生遺跡	左・吉田本町他 地内	3/16～4/10	№4：-0.75m、近世の包含層。-1.0m、時期 不明の包含層（土師器）。-1.3m以下、にぶい 黄色微砂の地山。№8：-0.8m、室町の包含層 （土師器）。-1.2m以下、黄褐色細砂の地山。	KS379	19
白河街区跡	左・浄土寺真知町～岡崎真知堂前町 地内	2/5～4/12	№2：-0.16m、時期不明の路面。№5：-1.04 m以下、褐色泥砂の地山。№11：-0.68m以下、 黄褐色砂礫の地山。	KS319	19
白河南殿跡	左・石原町282-4の一部	2/13-14	-0.2mまで現代盛土。	KS327	19
白河南殿跡	左・石原町281	2/23-26	-0.33m、近世の包含層。-0.57m以下、褐色粗 砂の地山。	KS348	19
岡崎遺跡・ 白河街区跡	左・岡崎円勝寺町91	2/8～5/22	巡回時、工事終了。	KS324	19
岡崎遺跡・ 白河街区跡	左・岡崎北御所町28	2/13-14	№1：-0.2m、室町中期の包含層。№2：-0.21 m、室町中期の包含層。	KS326	19
岡崎遺跡・ 法勝寺跡	左・岡崎天王町32-9	3/29-30	-0.35m、近世の包含層。	KS403	19

#### 南・桂地区（MK）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図版
中久世遺跡	南・久世中久世町三丁目82	'00/12/13～'01/ 4/11	-0.42m以下、灰色粘土の地山。	MK279	27-5
中久世遺跡	南・久世中久世町西丁目14-1	2/21～26	+0.2mまで現代盛土。	MK345	27-5
大塚野神社遺跡・ 大塚野南3丁目跡・ 轟野町片山遺跡・ 安岡遺跡・ 大塚野野田城跡	西・大塚野南春日町 地内	'00/6/29～'01/ 2/7	№1：-1.5m以下、にぶい黄褐色粘土の地山。 №20：-0.7m以下、暗褐色粘土の地山。№37： -0.43m以下、黄褐色泥砂の地山。№44：-0.12 m以下、褐色粘土（砂礫混）の地山。№50：-0.45 m以下、褐色砂泥（砂礫混）の地山。	MK105	16-2 26-1
上里北ノ町遺跡	西・大塚野上里南ノ町18 大塚野中学校	1/10・16・19	-0.55m以下、褐色粘質土の地山。	MK296	26-1

#### 洛東地区（RT）

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図版
六波羅政庁跡	東・鐘鈴町45	1/29～31	-1.0mまで現代盛土。	RT313	20
六波羅政庁跡	東・妙法院前御町422-1	3/2-5	-1.73mまで現代盛土。	RT361	20
法住寺殿跡・ 六波羅政庁跡	東・茶屋町 地内	3/23	-0.2m、方広寺大仏殿の礎石抜き穴を検出。次 年度報告。	RT389	20
法住寺殿跡・ 六波羅政庁跡	東・茶屋町527	3/27～11/1	江戸末期の南北石垣。	RT391	20
法性寺跡	東・本町十六丁目307	'00/7/17～'01/ 4/13	-0.8m以下、灰オリーブ色泥砂の地山。	RT117	20
山科本願寺跡	山・西野大平先町16-5	2/15-16	巡回時、工事終了。	RT331	21-1
大塚遺跡	山・大塚野清町86 有羽中学校	2/23	-0.6mまで現代盛土。	RT349	21-6
中匠遺跡	山・勤修寺西ヶ崎324-4	2/19	巡回時、工事終了。	RT336	21-4
中匠遺跡	山・勤修寺西ヶ崎324-3	2/19	巡回時、工事終了。	RT337	21-4

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
中原遺跡	山・柳辻番所ヶ口町171の一部	3/6-7	-0.25m、耕作土。	RT363	21-4
中原遺跡	山・柳辻番所ヶ口町171の一部	3/6-7	-0.1m、耕作土。	RT364	21-4
中原遺跡	山・柳辻番所ヶ口町171の一部	3/7-8	-0.24m、古墳前期の落込（土師器室）。	RT368	21-4
中原遺跡	山・勧修寺東金ヶ岡64-4の一部、 64-5の一部	3/13-19	+0.05mまで現代盛土。	RT373	21-4
中原遺跡	山・勧修寺東金ヶ岡64-5の一部、 64-6の一部	3/19	+0.05mまで現代盛土。	RT381	21-4
中原遺跡・ 中原十三塚	山・西野山中岡町74-9,75	1/31	-0.34mまで現代盛土。	RT318	21-4

#### 鳥羽地区 (TB)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
深草遺跡	伏・深草西通町6丁目 地先	3/30-4/4	巡回時、工事終了。	TB406	22-4
鳥羽離宮跡	伏・竹田山中宮町48-1	3/28,4/2	-1.96m、耕作土。	TB404	23

#### 伏見・醍醐地区 (FD)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
深草坊町遺跡・ 深草寺跡	伏・深草西伊通町1-4 深草中学校	3/29-4/16	-0.72mまで現代盛土。	FD402	22-4
嘉祥寺跡	伏・深草五町6	3/26-4/2	No 1 : -0.44m以下、黄褐色細砂の地山。No 2 : -0.6m以下、黄褐色細砂の地山。	FD395	22-4
伏見城跡	伏・桃山伊庭12 桃山東小学校	2/5	No 1 : -1.42m以下、にぶい赤褐色粘質土の地山。No 2 : -0.78m以下、黄褐色粘質泥砂の地山。No 3 : -0.6m、灰オリーブ粘土と明褐色粗砂が縦方向に混合した地山。	FD320	25
伏見城跡	伏・桃山町三河57-3,64-3	3/15-16	+0.84m以下、赤褐色砂礫の地山。	FD378	24
黄金塚1号墳・ 伏見城跡	伏・桃山町道山28-2-3の一部	1/29-2/5	-0.4mまで現代盛土。	FD314	25
黄金塚1号墳・ 伏見城跡	伏・桃山町道山28-2-3の一部	2/19	-0.2mまで現代盛土。	FD340	25
桃屋遺跡・ 伏見城跡	伏・桃屋町1-1 桃屋中学校	2/26	-0.73m以下、褐色細砂の地山。	FD351	24

#### 長岡京地区 (NG)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
左京一帯四坊五町	南・久世東土川町346-1	'00/11/29-'01/4/9	弥生の柱穴、湿地状堆積。本文17ページ。	NG259	28
左京四坊四坊四町	伏・羽東師楽川町640 羽東師小学校	3/21	-0.5mまで現代盛土。	NG383	28
左京五条三坊四町	伏・羽東師古川町337地	2/9-13	-1.6mまで現代盛土。	NG325	28
左京八条四坊五町	伏・納所和泉屋一納所中河原 地先	'00/12/14-'01/2/9	-0.65m、近代の湿地状堆積。	NG280	26-2

II 2001年 4~12月期(平成13年度)

平安宮(HQ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
塚	室上・御前通一条下東塚町132-1 仁和小学校	4/9~19	-0.8m以下、黄褐色粘土の地山。	HQ004	1
大蔵省	上・仁和寺街道六軒町西入四番町125	11/22	-0.2mまで現代盛土。	HQ278	1
大蔵省	上・仁和寺街道六軒町西入四番町125	11/22	-0.2mまで現代盛土。	HQ279	1
大蔵省	上・上長者町通千本西入五番町157の一部	12/3-5	-0.6mで黒褐色砂泥を核出。	HQ288	1
大蔵省	上・千本通中立亮下仲御堂町71-4	5/14-15	No 1 : -0.9m以下、褐色砂泥の地山。No 2 : -0.43m。桃山の包含層(土師器Ⅱ、白磁)。-0.77m。時期不明の包含層(土師器Ⅱ)。	HQ038	1
大蔵省	上・上長者町通千本東入借橋町472	6/11-12	-0.4mまで現代盛土。	HQ072	1
大蔵省	上・中立先通淨福寺東入新刺屋町420	5/15	-0.3mまで現代盛土。	HQ041	1
主殿寮	上・中立先通日暮東入新白水丸町462-16他	9/17-18	-0.46mまで現代盛土。	HQ191	1
茶室	上・中立先通日暮東入新白水丸町462-117	6/27-29	-0.15mまで現代盛土。	HQ101	1
茶室	上・中立先通日暮東入新白水丸町462-116	6/28-7/2	-0.35mまで現代盛土。	HQ102	1
茶室	上・中立先通日暮東入新白水丸町462-118	8/2-3	-0.1mまで現代盛土。	HQ143	1
内教坊	上・日暮通中立亮下須田町246-4	6/21	巡回時、工事終了。	HQ091	1
大蔵省	上・仁和寺街道七本松西入二番町194-28	9/20-21	-1.36m、褐色粘土の地山。	HQ138	1
右近衛司	上・御前通一条下下壱町168	9/26-28	-0.9m以下、暗褐色砂泥の地山。	HQ203	1
右近衛所	上・御前通下立亮上三丁目東入三助町280-44	10/23	-0.3mまで現代盛土。	HQ300	1
裏松原	中・築港通中町36-1	4/18-20	-0.9mまで現代盛土。	HQ017	1
裏松原	上・下長者町通七本松西入馬場町255-16-46	9/4-6-11	-0.15m、江戸後期の包含層。	HQ177	1
織殿寮	上・土屋町通下長者町上る山王町510	9/11	-0.2mまで現代盛土。	HQ189	1
織殿寮	上・上長者町通淨福寺西入新御馬場町529-1	6/26-27	-0.71m以下、黄褐色粘質砂泥の地山。	HQ096	1
築本	上・智恵光院通下長者町上る西辰巳町116-3	10/25	No 1 : -0.15m、江戸末期の包含層。-0.57m以下、褐色粘土の地山。	HQ232	1
織御曹司	上・裏門通出水上る白銀町251-3	7/23	-0.3mまで現代盛土。	HQ135	1
織御曹司	上・出水通智恵光院西入田村御前町209	12/12	-0.2mまで現代盛土。	HQ303	1
内裏	上・下立先通千本東入下る中務町490-76	11/13~16	巡回時、工事終了。	HQ260	1
内裏	上・淨福寺通出水上る白銀町267	7/2-23	巡回時、工事終了。	HQ108	1
内裏	上・淨福寺通出水上る白銀町267	7/2-23	巡回時、工事終了。	HQ109	1
内裏	上・淨福寺通出水上る白銀町267	7/2-23	巡回時、工事終了。	HQ110	1
内裏	上・裏門通出水上る白銀町257-19	8/3	-0.2mまで現代盛土。	HQ147	1
内膳司	上・下長者町通千本東入上る二本松町6	5/14-29	巡回時、工事終了。	HQ039	1
内膳司	上・下長者町通千本東入上る二本松町6	5/29	巡回時、工事終了。	HQ062	1
内膳司	上・下長者町通千本東入上る二本松町6	5/29	巡回時、工事終了。	HQ063	1
右兵衛所	上・下立先通七本松西入西東町343-2、346-3	12/4	巡回時、工事終了。	HQ290	1
真宮院・中和院	上・下立先通、御前通千本通他 地内	4/11-8/28	平安の溝、路面。本文 5ページ。	HQ011	1
真宮院	上・六軒町通下長者町下る七番町330-18	4/10-11	-0.35m、江戸末期の包含層。	HQ010	1
東種院	上・日暮通藤木町上る帯前町700、700-1	10/15-25	-0.86m以下、褐色砂泥の地山。	HQ220	1
造酒司・内匠寮	中・西ノ京西鹿垣町一築港東町 地先	4/23-24	巡回時、工事終了。	HQ022	1-9
造酒司	中・築港通下町12-47	11/20	-0.18mまで現代盛土。	HQ273	1
内匠寮	中・西ノ京左馬寮町38-9	6/15-18	-0.07m、江戸後期の包含層。	HQ081	1
内匠寮	中・西ノ京左馬寮町38	6/15-18	-0.35mまで現代盛土。	HQ082	1
左馬寮	中・西ノ京左馬寮町3-1 朱雀第二小学校	7/23	-1.09m、江戸末期の湿地状堆積。-1.28mで褐色粘土の地山を切って平安の柱穴(瓦)。	HQ134	1
豊楽院	中・築港通南町6-11	6/8	-0.2mまで現代盛土。	HQ071	1
豊楽院	中・築港通西町122-6-7の一部	7/24	-0.15mまで現代盛土。	HQ138	1
豊楽院	中・築港通中町43-2	6/27-28	+0.05m、平安前期の整地層(土師器Ⅱ、杯、瓦)。	HQ100	1
朝堂院	上・千本通二条下る築港町852-3	8/9-10	-0.14m、江戸後期の包含層。	HQ154	1
朝堂院	中・築港通東町7	11/19-20	-0.56m、江戸後期の包含層。	HQ271	1
朝堂院隣接地	中・西ノ京小堀町	4/9-10	-0.5m以下、黄褐色砂泥(礫混)の地山。	HQ007	1

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図版
内舎人	上・下立先通千本東入中務町486-14	4/23	-0.12m、江戸末期の包含層。	HQ021	1
内舎人	上・下立先通千本東入中務町486-14	5/28	-0.13m、近世の包含層。	HQ056	1
内舎人	上・下立先通千本東入中務町486-14	5/28	-0.13m、近世の包含層。	HQ057	1
内舎人	上・下立先通千本東入下中務町486-158	8/27-28	-0.2m、近世の包含層。	HQ170	1
主水司	上・千本通二条下る東入主税町938	7/30	遺留時、工事終了。	HQ142	1
大炊寮	上・日暮通丸太町下る四町目802-21	10/26	-0.1m、江戸後期の包含層。-0.4m以下、褐色粘土(砂礫混)の地山。	HQ235	1
大炊寮	上・日暮通丸太町下る四町目798-1	5/22~25	-0.18m、江戸後期の包含層。	HQ053	1
大宮内省	上・竹屋町通千本東入主税町1240-1	6/25~27	-0.56mまで現代盛土。	HQ094	1
太政官	上・千本通二条下る東入主税町1038の一部、1039の一部	5/17-18	-0.4mまで現代盛土。	HQ043	1
太政官	上・千本通二条下る東入主税町1038-2	5/18	-0.2mまで現代盛土。	HQ045	1
太政官	上・千本通二条下る東入主税町1038-1	5/30	-0.1mまで現代盛土。	HQ065	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町3-11	5/18~29	-0.7mまで現代盛土。	HQ046	1
兵部省	中・西ノ京内堀町26-28	7/2	遺留時、工事終了。	HQ107	1

### 平安京左京(HL)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図版
北辺四坊 一町	上・京都御苑1	10/23	-0.4mまで現代盛土。	HL229	3
北辺四坊 二町	上・京都御苑1	9/4~6-11	-0.98m、時期不明の包含層(土師器)。	HL178	3
北辺四坊 五町	上・京都御苑3	8/23~10/3	No 7 : -0.13m、江戸の中筋通の路面さ。No 25 : 26 : 東西街路の路面と側溝を確認。No 33 : -0.3m、中筋通東側溝の石組。No 42 : -0.45m、室町後期の包含層(土師器皿、輸入陶磁器)。No 43 : -0.6m、平安の包含層(土師器皿、灰輪陶器)。No 46 : -0.15m、江戸の中筋通の路面さ。No 3 : -0.74m、平安末期の包含層(土師器)。	HL163	14-3
北辺四坊 八町	上・京都御苑3	5/25~6/1	-0.84mで褐色砂礫の地山を切って時期不明の落込。No 6 : -1.05m、室町前期の包含層(土師器皿)。-1.1m、鎌倉後期の包含層(土師器皿)。	HL054	3
一条二坊 十町	上・油小路通出水上る大黒屋町40	5/29~31	-0.4m、江戸末期の整地層。	HL060	2
一条三坊 九町	上・室町通上長者町下る南和院町558-1	11/5~19	No 1 : -0.85m、室町末期の包含層(土師器皿)。-1.63m、室町後期の土層(土師器皿、陶器磁鉢、須恵器甕、備前甕)。No 4 : -2.0m、室町中期の包含層(土師器皿)。No 6 : -0.95m、室町末期の包含層(土師器皿)。	HL243	3
一条四坊 八町	上・京都御苑1	9/21-25	-1.15mで焼土を含むにぶい黄褐色泥砂層を検出。	HL199	3
一条四坊 十町	上・京都御苑2	9/17-20-25	-0.2mで焼土を含む整地層。	HL196	3
二条三坊 二町	中・西洞院通丸太町下る田中町135、135-1	7/9-10	-0.2m以下、江戸末期の整地層。	HL116	3
二条三坊 八町	上・新町通丸太町上る春香町355-1	9/25~10/1	No 1 : -1.03m、室町末期の包含層(土師器皿、瀬戸灰輪陶器花瓶)。-1.8m、室町後期の包含層(土師器皿、瓦器)。-2.15m、室町中期の包含層(土師器皿、瓦器)。No 2 : -1.73m、平安中期の包含層(土師器皿、須恵器甕、緑輪陶器皿、瓦)。	HL200	3
二条三坊 十町	中・丸久通竹屋町上る大倉町203	6/18~22-25	No 1 : -1.13m、桃山の包含層(土師器皿、灰輪陶器)。No 4 : -0.96m、室町後期の窪地状堆積(土師器皿、瓦質火鉢)。No 5 : -0.96m、室町後期の窪地状堆積(土師器皿、灰輪陶器皿)。	HL086	3
二条三坊 十四町	中・東洞院通奥川上る三本木五町目497-1-2	10/4~12	-0.78mにぶい黄褐色泥砂を切って平安末期の落込。推定東洞院大路西側築地の内溝に位置する。	HL211	3

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
二条三坊十五町	中・車庫通竹屋町砂金町460	5/14~18	No1: -1.57mで灰オリブ色砂礫の地山を切 って井戸を掘出。中層は江戸初期(土師器 皿、埴輪陶器、灰焼、漆器)。下層は桃山(土師器 皿、須恵器甕、埴輪陶器皿、木片、箸)。No2: -1.3m、江戸前期の落込(土師器皿、埴輪、埴 輪陶器碗、輸入灰付磁器、輸入白磁碗、漆器)。 -0.6m、室町後期の包含層(土師器皿、輸入青 磁鉢)。	HL040	3
二条三坊十六町	上・京都降苑3	11/27~29	-0.44m、江戸後期の包含層。	HL281	3
二条四坊 一町	上・京都降苑3	6/11,7/5	-0.7mまで現代盛土。	HL076	3
三条一坊十三町	中・大宮通小路下る姉大宮町84-2・3	7/17~19・23	-0.3~-0.35m、平安中~末期のビット2(土 師器皿・高杯、須恵器甕、埴輪陶器、輸入白磁 黒色土器、瓦)。-0.48m以下、オリブ褐色粘 土の地山。	HL124 HL111	2 2
三条二坊 二町	中・黒門通御池上る織物屋町230	7/4・5	No1: -0.77m、平安中期の包含層(土師器皿)。 -0.99m、平安前期の包含層(土師器皿)。-1.15 m以下、黄褐色粘土の地山。No3: -0.53m、 平安中期の包含層(土師器皿、須恵器鉢)。-1.35 m以下、黄褐色粘土の地山。	HL120	2
三条二坊 十町	中・池小路通御池上る押油小路町246	7/12~19	No1: -0.77m、平安中期の包含層(土師器皿)。 -0.99m、平安前期の包含層(土師器皿)。-1.15 m以下、黄褐色粘土の地山。No3: -0.53m、 平安中期の包含層(土師器皿、須恵器鉢)。-1.35 m以下、黄褐色粘土の地山。	HL120	2
三条三坊 一町	中・新町通二条下る願町14-2	8/31	-0.35m、江戸末期の焼土層。	HL174	3
三条三坊 二町	中・釜釜通押小路下る下松屋町713	7/4~12	No1: -1.1m、江戸初期の包含層(土師器皿) を切って江戸前期の土壌(土師器皿、志野皿)。 No2: -1.34m、室町末期の包含層(土師器皿、 瓦器蓋、瓦)。-1.45m、鎌倉末期の包含層(土 師器皿)。	HL113	3
三条三坊 二町	中・御池通西洞院東入橋之町738,741-4	11/25-29・30	-0.45mまで現代盛土。	HL280	3
三条三坊 七町	中・衣通通御池上る西横町~衣通通九太町 下る玉樋町 地先	6/4~9/14	No16: -1.1m、江戸初期の包含層(埴輪陶器皿)。 No17: -0.8m、江戸後期の湿地位堆積。No20: -1.02m、室町中期の包含層(土師器皿)。No37: -0.98m、室町中期の包含層(土師器皿)。No38: -0.94m、鎌倉前期の包含層(土師器皿、須恵 器甕)。No40: -0.94m、桃山の包含層(土師器 皿、埴輪陶器皿)。-1.13m、室町末期の包含層 (土師器皿)。	HL068	3
三条三坊 九町	中・岡野町通押小路上る金炊町461	10/11~11/13	-1.24m以下、にぶい黄褐色砂礫を掘出。	HL216	3
三条三坊 十四町	中・姉小路通車庫町東入車庫町253,260	4/20~5/1	-1.47m、時期不明の包含層。	HL020	3
三条四坊 十町	中・富小路通御池上る守山町168-1	8/7~10	-0.68m、江戸後期の包含層。	HL152	3
三条四坊 十二町	中・柳馬場通三条上る油屋町90	11/6~12	-2.42m、室町末期の包含層。	HL245	3
三条四坊 十三町	中・三条通鮫屋町西入弁慶石町35	7/2・5・9	-1.46m、古墳~室町期の包含層(土師器皿・埴 輪陶器鉢、瓦器羽釜、輸入白磁・青磁)。	HL105	3
三条四坊 十三町	中・寺町通三条上る天性寺前町536-1	9/11~10/11	-1.38m、時期不明の路面。推定東京堀大馬路踏 面に位置する。-1.51m以下、暗褐色細砂の地 山。	HL184	3
三条四坊 十四町	中・御幸町通御池下る大文字町347-4	8/20~27	No1: -1.34m、桃山末~江戸初期の包含層(土 師器皿)。-1.45m、室町末期の包含層(土師器 皿、灰輪陶器皿)。No2: -1.77m、平安中期の 包含層(土師器皿)。	HL158	3
四条二坊 十六町	中・六角通西洞院西入本能寺町102地	6/13~7/9	-1.79m、江戸前期の包含層(土師器皿、埴輪 陶器甕、埴輪陶器)。-2.0m、桃山の包含層(土 師器皿、埴輪、火舎)。	HL079	4
四条三坊 一町	中・新町通三条下る三条町347-1・2・3	8/30~9/11	-3.13m、室町後期の土壌(土師器皿)。	HL172	5
四条三坊 十六町	中・東洞院通三条上る三文町205-3他	11/8・9・12	-2.2m、平安中期の包含層(土師器皿)。推定 東洞院大路西側溝に位置する。	HL251	5
四条四坊 三町	中・納薬師通高倉西入泉正寺町324	6/11~13	No1: -0.6m、室町後期の包含層(土師器皿、 石製品)。-1.18m、室町中期の包含層(土師器 皿)。-1.6m以下、にぶい黄褐色粘土の地山。 No2: -0.59m、平安中期の土壌(土師器皿、 須恵器甕、瓦器、灰輪陶器碗・皿、輸入白磁、 染付)。	HL073	5

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
四条四坊 八町	中・三条通榎町東入割屋町67	10/15-18-23	-0.47m、江戸末期の包含層。	HL214	5
四条四坊十二町	中・富小路通榎小路下る西大文字町616-1	6/12-15	№1：-0.28m、江戸後期の包含層、-0.69m、江戸中期の包含層。№2：-0.62m、江戸後期の包含層、-0.97m、室町後期の包含層。	HL077	5
四条四坊十三町	中・寺町通榎小路下る東大文字町296-1、297、298	5/9-17	-1.64m以下、暗灰色粘土の地山。	HL036	5
四条四坊十三町	中・懸屋町通榎小路下る割屋町512-1-2	7/18-25	№1：-1.18m、江戸中期の包含層。№2：-1.7m、江戸初期の包含層(土師器Ⅲ)。№3：-2.7m以下、暗オリブ砂礫の地山。	HL130	5
四条四坊十三町	下・四条通寺町西入奈良物町368-1~4	10/12-23	№1：-1.0m、室町末期の包含層(土師器Ⅲ、肥前系陶器)。№2：-1.35m、江戸中期の包含層。	HL219	5
四条四坊十四町	中・姥倉通榎馬場東入油屋町147-2、149-1-2	9/27-28	№1：-1.13m、室町末期の包含層(土師器Ⅲ)。	HL204	5
四条四坊十五町	中・六角通懸屋町東入八百屋町109他	7/2-30	№1：-2.23m、室町後期の土壌(土師器Ⅲ、灰釉陶器鉢、焼締陶器壺・椀鉢、瓦)。№2：-1.11m、室町末期の包含層(土師器Ⅲ)。	HL106	5
四条四坊十六町	中・懸屋町通三条下る白鍵町440	7/3-9	-1.0m、江戸の包含層、-1.68m、平安~近世の包含層(土師器Ⅲ、須恵器壺、瓦器、焼締陶器)。	HL112	5
四条四坊十六町	中・御幸町通三条下る海老屋町321	11/9-12-16	№1：-1.24m、江戸前期の包含層(土師器Ⅲ、磁器、輸入磁器Ⅲ)。№2：-1.52m、鎌倉前期の包含層(土師器Ⅲ)。№4：-1.58m、室町中期の包含層(土師器Ⅲ、灰釉陶器合子身、輸入青磁鉢)。	HL255	5
五条一坊 二町	中・壬生塚ノ宮町31	8/22-27	-0.3mで褐色粘土の地山を切って鎌倉前期の土壌(土師器Ⅲ)。	HL164	4
五条一坊 七町	中・壬生買場御所町48	7/9-18	№2：-0.31m、鎌倉中期の包含層(土師器Ⅲ、瓦)。	HL115	4
五条一坊十三町	下・大宮通高比下る高辻大宮町107、107-5、109、109-1-2-4	5/21-7/9	-1.55m以下、褐色砂礫の地山。	HL061	4
五条一坊十五町	下・大宮通榎小路下る大宮町51-2 都文中学校	11/13-14	-2.0mまで現代産土。	HL261	4
五条二坊 一町	下・四条通南黒門通一堀川通 地内	7/24-10/4	巡回時、工事終了。	HL136	4
五条二坊 一町	下・四条通大宮東入立中町他 地内 (主要市道風山祇園線)	8/20-11/16	№3：-0.5m、江戸前期の土壌(土師器Ⅲ、瀬戸系灰釉陶器板、刺印付備前小徳利、瓦)。№6：-0.29m、室町後期の土壌(土師器Ⅲ、須恵質陶器壺)。№7：-0.6m以下、灰質褐色砂礫の地山。	HL157	4
五条二坊 一町	下・四条通大宮東入立中町498の一部、500の一部、 猪熊通四条下る松本町257-1-2、260-1	4/25-5/9	№1：-0.33m、室町中期の包含層(土師器Ⅲ、須恵器壺、焼締陶器壺)、-0.6m、鎌倉後期の包含層(土師器、黒色土器、青磁、瓦器)、-1.05m以下、褐色粘土の地山。№2：+0.37m、江戸前期の包含層、+0.26m、室町後期~桃山の包含層、-0.55m以下、褐色砂泥の地山。	HL025	4
五条二坊 一町	下・四条通黒門下る下り松町165	12/3-7-10	室町後期の柱穴。本文8ページ。	HL287	4
五条三坊 一町	下・新町通四条下る四条町350	5/28-6/4	№2：-1.38m、室町中期の包含層(土師器Ⅲ、瓦質火鉢、硯)、-1.87m、鎌倉後期の包含層(土師器Ⅲ、瓦器、灰釉陶器)、-2.16m、平安前期の包含層(土師器)、№3：-1.26m、室町前期の包含層(土師器Ⅲ)。№4：-1.22m、鎌倉後期の包含層(土師器Ⅲ)、-1.67m、平安中期の包含層(土師器Ⅲ・壺、灰釉陶器)、-1.77m以下、暗褐色粘質土の地山。№5：-1.16m、室町初期の土壌(土師器Ⅲ、瓦器鉢、焼締陶器壺、輸入白磁)。№6：-2.96m、桃山の井戸(土師器Ⅲ、須恵質陶器壺・椀鉢、小型天目椀、焼締陶器壺、輸入青磁・白磁・青白磁、斬平瓦)。	HL069	5

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
五条三坊 七町	下・新町通鏡小路下る船鉦町381-1	5/7~14	No.1 : -2.15m, 江戸後期の包含層。-2.51m以下、ふい寅褐色粗砂の地山。No.3 : -2.15m以下、灰黄褐色粘質土の地山。	HL031	5
五条三坊十三町	下・東洞院通高辻下る櫻輪町577.580、580-1	5/30~6/7	-0.9m, 室町前期の包含層(土師器皿、青磁、白磁)。-1.5m以下、灰色砂礫の地山。	HL064	5
五条三坊十四町	下・東洞院通仏光寺下る高橋町607	11/19-20	-0.76mまで現代盛土。	HL272	5
五条四坊 五町	下・松原通西入杉屋町280	10/4~23	-0.99m, 室町後期の包含層(土師器皿、焙烙)。-1.25m, 鎌倉前期の包含層(土師器)。	HL212	5
六条一坊十二町	下・中堂寺前田町~中堂寺蔵内町 地先	5/2-7	蒸餾時、工事終了。	HL030	4
六条一坊十六町	下・下松屋町通松原下る上長福寺町218	6/13-15-18	-1.25m以下、暗褐色砂礫の地山。	HL080	4
六条二坊 三町	下・大宮通五条下る東洞院南門前町484	10/1~5-9	No.2 : -0.5m, 江戸前期の土質(土師器皿、焙烙、志野焼、唐津灰釉鉢、磁)。-1.1m以下、黄褐色微砂の地山。No.3 : -0.74m, 室町末期の包含層(土師器皿)。-0.94m以下、泡盛地層の包含層2(土師器皿)。No.4 : -0.44~0.85m, 平安中期の包含層2(土師器皿)。-1.1m以下、黄褐色粗砂の地山。	HL206	4
六条二坊 九町	下・藤ヶ井通松原下る藤屋町59 藤屋小学校	4/20~25	No.1 : -0.5m, 鎌倉前期の包含層。No.2 : -0.19m, 江戸末期の包含層。-0.41m, 鎌倉前期の包含層。	HL019	4
六条三坊 三町	下・新町通五条下る船子町109	11/14~16	蒸餾時、工事終了。	HL264	5
六条三坊 四町	下・若宮通六条下る若宮町~若宮通五条下る昆沙門町 地先	9/6~11/5	No.4 : -0.67m, 室町中期の包含層(土師器皿、瓦器鉢、焼締陶器壺)。No.5 : -0.55m, 室町中期の包含層(土師器皿)。No.16 : -1.24m以下、ふい寅褐色粘土の地山。	HL180	5
六条三坊 七町	下・五条通新町東入東筋屋町167.167-1.169	4/13~20	六条坊門小路北側溝を検出。本文18ページ。	HL014	5
六条三坊 九町	下・万寿寺通丸九入御石町341-2-3-4	10/4-5-9	-1.12m, 江戸前期の包含層(土師器皿、須恵質陶器器鉢、焼締陶器鉢鉢、地輪陶器鉄條鉢)。-1.5m, 室町末期の包含層(土師器皿)。-1.88m以下、暗灰黄色砂礫の地山。	HL210	5
六条三坊十四町	下・東洞院通五条下る二丁目目黒島町515	8/9-10-13	-0.55m, 江戸後期の包含層。	HL153	5
六条三坊十六町	下・東洞院通松原下る大江町532	7/26~31	-1.25m, 室町中期の包含層(土師器皿)。	HL139	5
六条四坊 六町	下・五条通河原町西入本塩町 596-605の一部	8/24-27	-0.4m, 江戸末期の包含層。	HL167	5
六条四坊十二町	下・河原町通五条下る本塩町583-4-5	4/24~27	-1.25m, 江戸後期の包含層。-1.52m以下、流丸椀椀。	HL024	5
六条四坊十三町	下・寺町通高辻下る京福町508	6/19~7/12	-0.38m, 江戸後期の包含層。-1.06m, 江戸中期の包含層。	HL090	5
七条三坊 四町	下・七条通新町西入夷之町712	7/2~6	No.1 : -1.4m, 鎌倉末~室町初期の包含層(土師器皿、瓦器鉢、地輪陶器壺、輸入青磁)。-2.2m以下、暗オリーブ色砂礫の地山。No.2 : -1.05m, 鎌倉後期の包含層(土師器皿)。-1.55m以下、褐色砂礫の地山。	HL104	7
七条三坊十二町	下・丸九通七条上る常盤町754	9/28	-0.36mまで現代盛土。	HL205	7
七条四坊 八町	下・上珠数屋町通富小路八軒町~富小路通五条下る本塩町 地先	10/30~12/18	-0.33m, 江戸後期の包含層。	HL239	5-7
八条二坊 六町	下・猪熊通塩小路上る金換町~猪熊通塩小路下る上夷町 地先	10/19~11/8	No.4 : -0.72m, 時期不明の路面。No.5 : -0.75m, 時期不明の路面。-0.8mで鎌倉後期の路面(土師器)。推定猪熊小路路面に位置する。	HL209	6
八条二坊 八町	下・岩上通下魚ノ瀬下る南八百屋町341	7/6-9	-1.25mまで現代盛土。	HL114	6
八条二坊 九町	下・油小路通下魚ノ瀬下る油小路町292地	4/9-12	No.1 : -1.85m, 室町後期の落込。No.2 : -0.9m, 鎌倉前期の包含層(土師器皿)。-1.5m以下、褐色砂礫の地山。	HL006	6
八条二坊 九町	下・七条通油小路西入土橋町214	4/24-25	-0.9mまで現代盛土。	HL023	6
八条二坊 九町	下・七条通東堀町西入八百屋町4	12/7-10~12	-0.9m, 鎌倉前期の包含層(土師器皿、須恵器壺)。	HL292	6
八条二坊十五町	下・水津屋橋通油小路東入南町503。 油小路通水津屋橋下る北不殿堂町527	12/26	-0.77mまで現代盛土。	HL309	6
八条三坊十六町	下・東洞院通西側、七条通一塩小路通 地内	7/9~9/13	-1.4m以下、褐色粗砂の地山。	HL118	7

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
八条四坊 一町	下・東洞院通東側、七条通～塩小路通 地内	7/9～9/4	-1.6mまで現代盛土。	HL117	7
八条四坊 二町	下・塩小路通東洞院東入 東塩小路町556-10,684-5	6/26-27	-0.85m、櫛倉の包含層（土師器、焼陶器類）。	HL095	7
八条四坊 七町	下・上之町19-5-28の一部	10/19	-0.98mまで現代盛土。	HL223	7
八条四坊 十町	下・上之町	6/15～27	-0.9m以下、流れ堆積。	HL083	7
八条四坊 十二町	下・上之町15～西之町197	9/6	-2.7mまで褐色砂礫の泡盛堆積。	HL182	7
九条一坊 三町	南・八条内田町34-1-2	8/7	-1.0m以下、暗緑灰色砂礫の地山。	HL151	6
九条三坊 九町	南・東九条上殿田町53-1-2	9/11～26	No.1：-0.4m以下、暗オリーブ灰色粗砂の地山。 No.2：-0.61m以下、灰色砂礫の地山。	HL186	7
九条四坊 四町	南・東九条上御霊町2-7	4/25-6/4	-1.29m、櫛倉の包含層（土師器）。	HL026	7
九条四坊 八町	南・東九条西岩本町他 地内	9/11～13	-0.37m以下、灰黄褐色砂礫の地山。	HL187	7

### 平安京右京 (HR)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
北辺二坊 五町	北・北野下白梅町53-1	5/25-28	-0.4mまで現代盛土。	HR055	9
北辺三坊 一町	北・北野西白梅町82-2	11/12～14	-0.38mまで現代盛土。	HR257	8
一条四坊 十一町	右・花園寺ノ前町他 地内	7/17～9/27	平安末期の無趾小路東端地の内溝と近衛大路に 関連する溝を抽出。本文11ページ。	HR125	8
一条四坊 十四町	右・花園寺ノ内町30-2・4・58の一部	8/6～8	No.1：-1.0m、時期不明の包含層。No.2：-1.07 m、時期不明の包含層。	HR148	8
二条二坊 十町	中・西ノ京中御門東町101	11/9～14	-1.27mまで現代盛土。	HR254	9
二条二坊 十二町	中・西ノ京南上合町41	8/9-16	-0.42m、平安中期の包含層（土師器、須恵 器、杯、緑釉陶器、黒、黒色土器類）。	HR155	9
二条二坊 十六町	中・西ノ京西門町1-3	5/18-21	-1.95m、時期不明の包含層。	HR047	9
二条三坊 十一町	中・西ノ京小堀地町13-1	11/14～21	-0.72m以下、黄褐色粘土の地山。	HR263	8
二条四坊 十五町	右・太秦安井北御所町～太秦安井辻ノ内町 地内	12/3～21	-0.4mでオリーブ褐色砂礫の地山を切って時期 不明の落込。推定二条大路北面溝に位置する。	HR289	8
三条一坊 一町	中・西ノ京堀尾町	12/10	-1.0mまで現代盛土。	HR296	9
三条一坊 十町	中・御池通、御前通～下ノ森通 地内	10/9～26	No.2：-0.38m以下、褐色粘土の地山。No.3： -0.22m、室町末期～桃山の包含層（土師器）。 No.4：-0.95m以下、褐色粘土（砂礫混）の地 山。	HR213	9
三条一坊 十四町	中・西ノ京西月光町6-1	6/19～22	-0.62m、江戸後期の包含層。-0.77m以下、黄 褐色粘土（微砂混）の地山。	HR085	9
三条二坊 十一町	中・西ノ京下合町27-28	10/25	-0.64m、時期不明の包含層（土師器）。-0.75 m以下、黄褐色粘土の地山。	HR233	9
三条二坊 十三町	中・西ノ京三条坊町1他	11/22	-0.7mまで現代盛土。	HR277	9
四条一坊 十二町	中・壬生森町28-2-8	7/30～8/2	-0.7m以下、黄褐色砂礫（粘土混）の地山。	HR140	11
四条二坊 十一町	右・西院東洋和院町15-1,16-1	12/5	-2.5m以下、暗青灰色砂礫の地山。	HR291	11
四条二坊 十三町	右・西院西洋和院町52-2	8/6～9/13	No.1：-0.69m、平安前期の包含層（須恵器類、 瓦）。-0.96m以下、褐色粘土の地山。No.2：-0.78 m、古代の包含層（平瓦）。-0.98m、時期不明 の包含層（須恵器）。-1.09mでいよいよ黄褐色粘 土の地山を切って時期不明の溝。No.3：-0.85 m、時期不明の包含層（土師器、瓦）。-1.07m 以下、褐灰色粘土の地山。	HR149	11
四条二坊 十四町	右・西院西洋和院町11	10/29	-0.53m、平安中期の落込（土師器類・高杯・ 甕、黒色土器、丸瓦・平瓦）。-0.6m、灰色粘 土（微砂混）の地山を切って平安の落込（土師 器、瓦）。	HR238	11
四条三坊 十三町	右・西院小堀町2	12/12～19	No.1：-1.3m以下、溜地及び流れ堆積を抽出。 旧天神川に関連するものと思われる。No.2： -1.54m以下、いよいよ黄褐色砂礫の地山。	HR299	10
四条三坊 十三町	右・西院小堀町2-3	12/12～27	-1.2m以下、オリーブ褐色砂礫の地山。	HR300	10
四条四坊 十五町	右・山ノ内前町22	11/12	-0.35mまで現代盛土。	HR256	10
五条一坊 九町	中・壬生森前町7,30-12	5/17～6/7	-2.6m以下、灰褐色砂礫の地山。	HR044	11



遺 跡 名	所 在 地	調査日	調 査 概 要	調査No	図版
五条二坊十四町	右・西院矢掛町29-14	10/24~31	No 1 : -1.16m以下、暗オリーブ褐色微砂の地山。No 2 : -0.7m。平安末期~鎌倉の包含層(土師器皿、焼締陶器等)。-0.85m以下、灰色粘土(微砂混)の地山。No 3 : -0.7m。時期不明の包含層(土師器皿、須恵器杯)。No 4 : -0.86m以下、褐色砂礫の地山。	HR231	11
五条三坊十一町	右・西院久田町102	6/4-5-7	-0.7m。耕作土。	HR067	10
五条三坊十四町	右・西院日原町116	5/7-9	-0.8mまで現代盛土。	HR033	10
五条三坊十六町	右・西院日原町1 西条中学校	11/16	-0.57m。近代の盛地状堆積。	HR268	10
六条一坊 三町	下・朱雀分水町80	10/16~25	No 1 : -0.9m以下、灰褐色微砂の地山。No 2 : -0.87m以下、にぶい黄褐色粘土の地山。No 3 : -1.1m以下、にぶい黄褐色粘土の地山。No 4 : -0.9m以下、オリーブ褐色粘土の地山。	HR222	11
六条一坊 三町	下・朱雀分水町80	11/6	-0.57mまで現代盛土。	HR246	11
六条一坊 六町	下・中堂寺南町61-1の一部、62-1の一部	8/23-24	-0.68m。鎌倉後期の包含層(土師器皿)。-0.96m以下、褐色粘土の地山。	HR166	11
六条一坊 八町	下・中堂寺北町23 朱雀第三小学校	8/2-3	-1.18m以下、灰黄褐色砂礫の地山。	HR144	11
六条二坊 九町	右・西院高田町17-1-2、18-4	10/31~11/7	No 3 : -0.66m。室町前期の包含層(土師器皿、須恵器鉢、輸入白磁碗)。-1.0m以下、オリーブ褐色粘土の地山。No 5 : -1.22m。時期不明の路面2。推定五条大路路面に位置する。-1.54m以下、オリーブ褐色粘土(微砂混)の地山。	HR240	11
六条二坊十三町	右・西院中水町1,2	5/28~6/1	No 1 : -0.81m。平安後期の包含層(土師器皿)。-1.3m以下、灰色微砂の地山。No 2 : -0.61m。時期不明の包含層3。	HR058	11
六条四坊 八町	右・西院月友町86	10/1~3-5	古墳中期・奈良のピットを検出。本文15ページ。	HR207	10
六条四坊 九町	右・西院月友町53	10/23~26・29	-1.1m以下、にぶい黄褐色粘土の地山。	HR228	10
六条四坊 十町	右・西院月友町102	5/22~24	-0.3mまで現代盛土。	HR052	10
六条四坊 十町	右・西院月友町95	8/24	-0.7mまで現代盛土。	HR168	10
六条四坊十三町	右・西京極西大丸町17-1	9/11-12	-1.88m。奈良の包含層(土師器鉢・高杯、須恵器杯)。	HR188	10
七条一坊 六町	下・朱雀宝蔵町26	4/16~19	-0.72m以下、にぶい黄褐色粘質土の地山。	HR015	13
七条二坊 八町	下・西七条西石ヶ坪町7-4	4/2~4	-0.59m。平安中期の包含層。-0.89m。湿地位状堆積。-0.99m以下、黒褐色砂礫の地山。	HR003	13
七条二坊十一町	下・西七条北輪田町32-1	12/10	-0.2mまで現代盛土。	HR298	13
七条三坊 八町	右・西京極北北境町69能	8/7-8	-1.28m以下、灰褐色粘土の地山。	HR150	12
七条四坊 三町	右・西京極宮ノ東町1 西京極中学校	8/20~23	-1.2m。耕作土。	HR161	12
七条四坊十六町	右・西京極西池田町6	12/6-7-10	-0.8m。時期不明の包含層(土師器)。	HR293	12
八条二坊 十町	下・西大路通東側、七条通~八条通 地内	6/28~9/5	No 14 : -0.85m。平安前期の包含層(土師器皿、須恵器鉢、灰釉陶器)。No 17 : -0.76m以下、灰黄褐色泥砂の地山。	HR103	13
八条二坊十三町	下・七条御所ノ内本町81-1の一部	11/13~15	-2.24m以下、暗オリーブ色砂礫の地山。	HR262	13
八条三坊 四町	南・吉祥院西ノ庄家屋敷町14	6/18	+0.38mまで現代盛土。	HR084	12
八条三坊十三町	南・吉祥院南田東町19-1の一部	7/12	-0.8mまで現代盛土。	HR121	12
九条一坊十二町	南・唐橋花園町4-2	12/10-11	-0.3mまで現代盛土。	HR297	13
九条一坊十四町	南・唐橋西寺町31、32-1-2	11/19~21	-0.5m。耕作土。	HR270	13
九条二坊十五町	南・吉祥院西ノ庄門口町14	11/7-8	-0.41mで灰黄褐色砂礫を検出。	HR250	13
九条四坊 六町	南・吉祥院中河原里北町6	12/25-26	-0.33mまで現代盛土。	HR308	12
九条四坊 七町	南・吉祥院西ノ西町31-3、31-2の一部	6/11-12	-0.26m以下、オリーブ灰色砂礫の地山。	HR074	12

洛北地区 (RH)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
植物園北遺跡	左・下鴨前京町15-1	4/18-19	-0.15m以下、オリープ褐色砂泥の地山。	RH018	15-5
植物園北遺跡	左・下鴨南野々神町1-1	5/21-22	-0.6m以下、にぶい黄褐色粘質土の地山。	RH050	15-5
植物園北遺跡	北・上賀茂北門町57-2	6/5-8	-0.68m以下、暗褐色砂礫の地山。	RH069	15-5
植物園北遺跡	北・上賀茂梅ヶ辻町39-2他	6/11-13	-0.3m、江戸末期の包含層、-0.5m、室町中期の包含層(土師器皿、須恵器壺)。	RH075	15-5
植物園北遺跡	左・下鴨神楽町20-2	7/17-19	No.2:-0.05m、平安中期の包含層(土師器皿)。	RH127	15-5
植物園北遺跡	北・上賀茂松本町30-1	8/3-6	No.3:-0.29m以下、灰黄褐色砂礫の地山。	RH145	15-5
植物園北遺跡	左・下鴨北野々神町34	8/20-24	-0.82m以下、褐色砂泥の地山。 No.1:±0m、古墳時代の包含層(土師器)。 -0.23m以下、黄褐色粘土の地山。No.2:+0.02m、古墳前期の包含層(土師器器台・壺・甕・鉢)。	RH160	15-5
植物園北遺跡	北・上賀茂草町38	10/19	-0.1mまで現代盛土。	RH225	15-5
植物園北遺跡	北・上賀茂辰井町83の一部	11/1	巡回時、工事終了。	RH226	15-5
植物園北遺跡	北・上賀茂辰井町83の一部-94-95	11/1	巡回時、工事終了。	RH227	15-5
植物園北遺跡	左・松ヶ崎峠町47 松賀茂公園	11/20	-0.6m以下、オリープ褐色砂泥の地山。	RH274	15-5
植物園北遺跡	左・下鴨前京町23-5	11/29-30	-1.5mまで現代盛土。	RH284	15-5
衣笠天神森古墳	北・衣笠天神森町9-3-4	4/6	-0.15mまで現代盛土。	RH005	14-1
北野遺跡	北・北野紅梅町1	4/13-26	No.2:+0.22m、鎌倉後期の包含層。No.3:-0.54m、平安前期の包含層(土師器皿、須恵器鉢・杯蓋)。 -1.7m以下、灰黄褐色粘土の地山。 No.5:-0.4mで灰黄褐色粘土の地山を切って江戸中期の土取式。 -0.92m、飛鳥の落込(瓦)。	RH012	14-1
北野遺跡	北・北野下白梅町57-1	5/18-25		RH048	14-1
北野庵寺	北・北野下白梅町54-5	8/20-22	-0.4mまで現代盛土。	RH159	14-1
北野遺跡	北・北野下白梅町51-2,52-2,53-3,54-2の一部	8/27-28	-0.35mまで現代盛土。	RH169	14-1
北野庵寺	北・北野下白梅町54-3-10	9/5	-0.5mまで現代盛土。	RH179	14-1
北野遺跡	北・北野紅梅町88	11/22-26	-0.35mまで現代盛土。	RH276	14-1
北野庵寺	北・北野下白梅町 地先	11/28-30	巡回時、工事終了。	RH283	14-1
北野遺跡	北・寺持院東町~北野上白梅町 地先	4/13-23	No.1:-0.3m以下、明褐色粘質土の地山。No.2:-0.43m、時期不明の包含層(土師器)。 -0.8m以下、黒褐色砂礫の地山。	RH013	14-1
室町殿跡	上・今出川通烏丸西入今出川町316、 室町通今出川上る薬山南半町248	5/29	-0.3m、江戸末期の整地層。	RH061	14-3
室町殿跡	上・室町通上立売下る真築地町84	10/26-11/5	No.2:-1.46m、室町後期の包含層(土師器皿)。 -2.45m以下、黒褐色砂礫の地山。No.3:-1.63m、室町中期の包含層(土師器皿)。	RH234	14-3
室町殿跡	上・新町通、上立売通~今出川通 地内	6/26-8/31	No.1:-2.36m、室町中期の包含層(土師器)。	RH097	14-3
新町校地遺跡	上・一条通新町東入る東日野殿町394-1	10/15-24	No.10:-0.74m、室町末期の包含層(土師器皿)。 No.1:-0.62m、江戸後期の包含層。No.2:-1.43m、江戸中期の包含層。 -2.13m以下、褐色砂礫の地山。	RH221	14-3

太秦地区 (UZ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
史跡仁和寺 跡所跡隣接地	右・宇多野北ノ院町2	7/11-23	-0.7mまで現代盛土。	UZ123	17-1
仁和寺院家跡	右・常盤普戸山町11-4の一部、11-10、 山下町1-56の一部、4-10の一部	8/23	-0.27m以下、褐色砂礫の地山。	UZ165	18
仁和寺院家跡 和泉式部町遺跡	右・宇多野御原敷町9-5-7-8	10/11	-0.64m以下、黄褐色砂泥の地山。	UZ215	18
蛇塚古墳	右・太秦南ノ西町27-17-18	7/17	-0.45mまで現代盛土。	UZ129	18
門田町遺跡	右・太秦西町20-32	4/17	-0.27mまで現代盛土。	UZ016	18
門田町遺跡	右・太秦南ノ森町 地先	7/24-25-27	-0.55m以下、褐色粘土の地山。	UZ137	18
門田町遺跡	右・太秦門田町～森ノ前町 地先	9/17	返却時、工事終了。	UZ192	18

北白川地区 (KS)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
田中藤之藤原被地	左・田中里ノ内町36	9/11-20	No 1 : -0.23m、江戸後期の包含層。-0.76m、 桃山の包含層(土師器皿、輸入青磁碗)。No 2 : -0.25m、江戸後期の包含層。-1.3m以下、灰 色砂礫の地山。	KS183	19
北白川鹿寺	左・北白川上別当町21-5	4/3	-0.5m以下、褐色泥砂の地山。	KS001	15-1
上終町遺跡・ 北白川鹿寺	左・北白川東瀬ノ内町33-1	9/25-26	-0.3mまで現代盛土。	KS201	15-1
小倉町別当町遺跡	左・北白川別当町10	11/6-9	No 1 : -0.43m、平安末期の包含層(土師器皿、 黒色土師)。No 2 : -1.02m、縄文中期の包含層 (深鉢)。	KS249	15-1
京都大学構内 弥生遺跡・ 京都大学 総合人間学部 構内遺跡・ 白河街区跡 円成寺跡	左・近衛通、東大路通～吉田東通 地内	6/26	返却時、工事終了。	KS098	19
白河街区跡	左・夙ヶ谷桜谷町126、126-3	12/12-14-18	+1.69m、室町中期の埋地状地積(土師器皿)。 表層で平安の平瓦。	KS302	15-3
白河街区跡	左・神楽坂通、吉田東通～神楽岡通 地内	5/9-7/3	No 4 : -0.83m以下、明黄褐色粘土の地山。No 15 : -0.95m以下、黄褐色泥砂の地山。No19 : -1.3m、時期不明の路面。	KS034	19
岡崎遺跡・ 尊勝寺跡	左・岡崎西天町74-2地	7/17-25-26	-0.3m、平安中期の包含層(土師器皿)。	KS128	19

南・桂地区 (MK)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
上久世遺跡	南・府道中山福西線、JR東入～久世梅津線 地内	7/19-10/5	-0.56m以下、暗オリーブ色砂泥の地山。	MK131	27-3
上久世遺跡	南・久世中久世町一丁目20の一部	11/12-21	-0.7m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。	MK259	27-3
中久世遺跡	南・久世殿城町138-1・2、140の一部、 141-2・3	6/18-19	-0.5m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。	MK089	27-5
福西古墳群	西・大枝東長町1-508	9/17-18	-0.78m以下、黄褐色砂泥の地山。	MK193	16-1
福西古墳群	西・大枝東長町1-30	10/26	-0.3mまで現代盛土。	MK237	16-1

洛東地区 (RT)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
六波羅政庁跡	東・山崎町379-2	11/6~12	No1:-0.86m、鎌倉後期の包含層(土師器Ⅱ)。 No2:-1.3m、鎌倉前期の包含層(土師器Ⅱ)。 No10:-0.5m、室町末期の包含層(土師器)。 -0.77m、室町後期の包含層(土師器Ⅱ)。No11: -0.65m、室町後期の包含層(土師器Ⅱ)。No14: -0.7m、鎌倉末期の包含層(土師器Ⅱ、灰物陶 器Ⅱ)。No15:-0.5m、鎌倉前期の包含層(土 師器Ⅱ、須恵質陶器鉢、輸入青磁鉢)。No17:-0.6 m、室町末期の包含層(土師器Ⅱ)。No18:-0.62 m、室町末期の包含層(土師器Ⅱ、須恵質陶 器鉢)。	RT247	20
法住寺殿跡	東・妙法院前町447	8/20~12/12		RT182	20
法住寺殿跡	東・妙法院前町440 修道小学校	12/12-14	-1.04mで、にぶい黄褐色砂泥を検出。	RT301	20
法住寺殿跡	東・下池田町527 一橋小学校	4/2~26	-0.48~0.8mで黄褐色硬質粘土の地山を切って 時期不明のピット、柱状、落込などを検出。	RT002	20
日ノ岡堤谷 須恵器窯跡	山・御堂原西町 地内	11/15~26	No1:-1.63m以下、黄褐色砂泥の地山。No3: -0.17m以下、オリブ色砂泥の地山。	RT287	21-2
安来遺跡	山・上野御所ノ内町5-1	8/3~7	-1.5mまで雑乱。	RT146	21-3
山科本願寺跡	山・西野山降町地 地内	10/11~29	-1.1m以下、褐色砂泥の地山。	RT218	21-1
山科本願寺裏庭跡	山・吉羽伊勢宿町32-3-95	5/10	-0.26mまで現代盛土。	RT037	21-5
中臣遺跡	山・勧修寺東金ヶ岡64-8	4/9	-0.2mまで現代盛土。	RT008	21-4
中臣遺跡	山・勧修寺東金ヶ岡64-11	4/27	+0.07mまで現代盛土。	RT029	21-4
中臣遺跡	山・勧修寺西薬師野町301	5/9-10	-0.98m以下、黄褐色砂泥の地山。	RT035	21-4
中臣遺跡	山・勧修寺東薬師野町 地先	5/21	-1.3mまで現代盛土。	RT049	21-4
中臣遺跡	山・勧修寺西金ヶ岡324-5	6/7	-0.4mまで現代盛土。	RT070	21-4
中臣遺跡	山・勧修寺東薬師野町10-1	6/18	-1.0m以下、褐色砂泥の地山。	RT088	21-4
中臣遺跡	山・勧修寺西金ヶ岡324-6	6/21	-0.25mまで現代盛土。	RT093	21-4
中臣遺跡	山・勧修寺東金ヶ岡64-13	6/27~7/12	返照時、工事終了。	RT099	21-4
中臣遺跡	山・勧修寺西金ヶ岡324-7	8/31	-0.4mまで現代盛土。	RT173	21-4
中臣遺跡	山・勧修寺西金ヶ岡211-1	9/12	-0.4mまで現代盛土。	RT190	21-4
中臣遺跡	山・黒瀬野打越町48-8	9/25	返照時、工事終了。	RT202	21-4
中臣遺跡	山・勧修寺東金ヶ岡105、106	12/3	-0.33mまで現代盛土。	RT286	21-4
中臣遺跡	山・勧修寺東薬師野町45-2	11/8	-0.16mまで現代盛土。	RT252	21-4
坂上田村麻呂墓 伝承地	山・西野山中臣町71-15	9/4	-0.14mまで現代盛土。	RT176	21-4

鳥羽地区 (TB)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
西飯食町遺跡	伏・深草飯食町826	7/12-17	-0.52m、鎌倉の包含層(土師器、瓦器)。-0.69 m、平安後期の包含層(土師器、瓦器)。-0.8 m、平安中期の包含層(土師器、瓦器)。-0.94 m以下、暗緑灰色砂泥の地山。	TB122	22-4
西飯食町遺跡	伏・深草飯食町827	9/17-18-20	-0.4m、中世の包含層(土師器、瓦器)。-0.68 m以下、灰黄褐色微砂の地山。	TB194	22-4
鳥羽羅宮跡	伏・竹田西橋ノ井町59	4/26-27	-0.75mまで現代盛土。	TB027	23
鳥羽羅宮跡	伏・中島河原田町4-38	5/7~9	返照時、工事終了。	TB032	23
鳥羽羅宮跡	伏・竹田中内畑町74	7/19-23	-0.38m、近世の包含層(磁鉢、棧瓦)。	TB132	23
鳥羽羅宮跡	伏・中島前山町65	9/11-12	返照時、工事終了。	TB185	23
鳥羽羅宮跡	伏・中島河原田町4-63	12/21-25	+0.1mまで現代盛土。	TB307	23
鳥羽羅宮跡	伏・竹田東小屋ノ内町84-2	10/19	-1.1mまで現代盛土。	TB224	23
下鳥羽遺跡	伏・竹田松林町31	6/12~15	-0.65mまで現代盛土。	TB078	22-3

道跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
芹川城跡	伏・下鳥羽渡瀬町 渡瀬公園	11/21・22	-1.75m以下、灰色泥土の地山。	TB275	22-3
唐橋遺跡	南・吉祥院九条町1-2	7/10・12	巡回時、工事終了。	TB119	22-2
唐橋遺跡	南・吉祥院九条町7	10/11~23	-0.98m以下、褐色砂礫の地山。	TB217	22-2
烏丸町遺跡	南・東九条南烏丸町34-2・9-11、35-13	11/6・13・14	-0.54mで湿地状堆積を抽出。	TB248	22-1
上鳥羽城跡	南・上鳥羽城ヶ前町16 上鳥羽小学校	7/23	-1.8m、近世の湿地状堆積。	TB133	23
上鳥羽遺跡	南・上鳥羽南島田町79	11/1・2	-0.42m以下、褐色砂泥の地山。	TB241	23

### 伏見・醍醐地区 (FD)

道跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
小野庭寺	伏・醍醐大高町4-6	4/26・27	-0.38m以下、緑灰色粘質土の地山。	FD028	27-1
伏見城跡	伏・南浜町他(一般市道南浜通他)	5/15~8/29	-0.32m、近世以降の路面2。-0.49m、近世の包含層。-0.62mで、黄褐色粗砂を抽出。	FD042	24
伏見城跡	伏・柿ノ木浜町~本村木町 地先	6/21~26	No.1 : -0.67m以下、明黄褐色粗砂の地山。No.3 : -0.4m、時期不明の路面。-0.6m以下、黄褐色粗砂の地山。	FD092	24
伏見城跡	伏・西大手町307-75・129、周防町331-40	8/28~9/4	-0.65mで、黄褐色粗砂を抽出。	FD171	24
伏見城跡	伏・京町北八丁目80-1	9/19~21	No.1 : -0.2m、時期不明の層地層3。No.2 : -0.75m、時期不明の石垣。	FD197	24
伏見城跡	伏・桃山水野左近東町19 桃山中学校	10/26・29	巡回時、工事終了。	FD236	24
伏見城跡	伏・桃山町蓮山28-65	4/10	-0.2mまで現代盛土。	FD009	25
向島城跡	伏・向島本丸町32-1、二ノ丸町68-33、119	8/16	-0.15mまで現代盛土。	FD156	27-4
向島城跡	伏・向島本丸町7-1	12/10	±0mまで現代盛土。	FD295	27-4

### 長岡京地区 (NG)

道跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
左京一条三坊十一・十四町	南・久世東土川町	8/1~10/5	-1.9m以下、オリーブ灰色粘土の地山。	NG141	28
左京一条四坊四町	南・久世東土川町337-1の一部	11/14・15	-0.4mまで現代盛土。	NG265	28
東土川遺跡	伏・羽東師斐川町 地先	9/5~10/2	-1.2mで湿地状堆積を抽出。	NG181	28
左京三条四坊一・四町	伏・羽東師斐川町554の一部	12/17	-0.2mまで現代盛土。	NG305	28
左京三条二坊十六町	伏・羽東師斐川町178-1の一部	7/17	巡回時、工事終了。	NG126	28
左京三条三坊四町	伏・羽東師斐川町346	5/30、6/5	-1.2mまで現代盛土。	NG066	28
左京三条二坊十一町	伏・淀大津町14-21	11/5	-0.3mまで現代盛土。	NG244	26-2
右京北近四坊十五町・上庄北ノ町遺跡	西・大原野上庄南ノ町~東竹の里町三丁目 地先	9/18~10/12	No.2 : -0.8m以下、黄褐色砂泥の地山。No.4 : -0.35m以下、褐色砂泥の地山。	NG195	26-1
右京一条二坊六町	西・大原野東野町4-38他	9/3	-1.54m以下、黄褐色粗砂の地山。	NG175	27-2

# 報告書抄録

ふりがな	きょうとしないいせきたらあいらょうきがいはう							
書名	京都市内遺跡立会調査概報 平成13年度							
副書名								
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	菅田 薫、堀内寛昭、モンベティ恭代、吉本健吾							
編纂機関	財団法人京都市歴史文化財研究所							
所在地	〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東元伊佐町265-1 TEL075-415-0521							
発行機関	京都市文化市民局							
所在地	〒604-0925 京都市中京区寺町通御池上の上本能寺前町488 TEL075-222-3108							
発行年月日	西暦2002年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
平安宮 右近衛府跡、 鳳鳴遺跡	京都市上京区 御前通下立売上る二 丁目中之町	26100		35度1分9秒	135度44分20秒	2001.1.15～ 1.18		住宅
平安宮右兵衛衛門跡、 真直院跡、中興院跡、 鳳鳴遺跡、真珠遺跡	京都市上京区 御前通下立売上る二 丁目中之町	26100		35度0分57秒	135度44分20秒	2001.4.11～ 8.28		水道工事
平安宮跡 左京五条二坊一町、 妙蓮寺の礎之跡	京都市下京区 西条通黒門下る下り 松町	26100		34度59分58秒	135度45分9秒	2001.12.3～ 12.10		マンション
平安宮跡左京 六条三坊七町、 烏丸殿小路遺跡	京都市下京区 五条通新町東入東筋 南町	26100		34度59分36秒	135度45分36秒	2001.4.13～ 4.20		マンション
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
平安宮 右近衛府跡、 鳳鳴遺跡	都城	平安	溝	土器類・瓦類				
平安宮右兵衛衛門跡、 真直院跡、中興院跡、 鳳鳴遺跡、真珠遺跡	都城	平安～鎌倉	溝・路面	土器類・瓦類				
平安宮跡 左京五条二坊一町、 妙蓮寺の礎之跡	都城	室町	柱穴	土器類				
平安宮跡左京 六条三坊七町、 烏丸殿小路遺跡	都城・集落	平安～室町	溝	土器類				

ふりがな	きょうとしなにいせまたらみちろうさがいほう							
書名	京都市内遺跡立会調査概報 平成13年度							
副書名								
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	菅田 隆、堀内寛昭、モンベティ恭代、吉本健吾							
編集機関	財団法人京都市埋蔵文化財研究所							
所在地	〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1 TEL075-415-0521							
発行機関	京都市文化市民局							
所在地	〒604-0925 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488 TEL075-222-3108							
発行年月日	西暦2002年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
平安京跡右京一条西坊十一町・十三町	京都府京都市右京区 花園寺ノ前町地 内	26100		35度1分0秒	135度43分21秒	2001.7.17～ 9.27		水道工事
平安京跡右京六条西坊八町、西京極遺跡	京都府京都市右京区 西院月友町	26100		34度59分41秒	135度43分29秒	2001.10.1～ 10.5		マンション
長岡京跡左京一条西坊五町	京都府京都市南区久 世東土川町	26100		34度56分36秒	135度43分32秒	2000.11.29～ 2001.4.9		工場
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
平安京跡右京一条西坊十一町・十三町	都城	平安～鎌倉	溝	土器類				
平安京跡右京六条西坊八町、西京極遺跡	都城・集落	古墳～平安	ピット	土器類				
長岡京跡左京一条西坊五町	都城	弥生	湿地状堆積・柱穴	土器類				

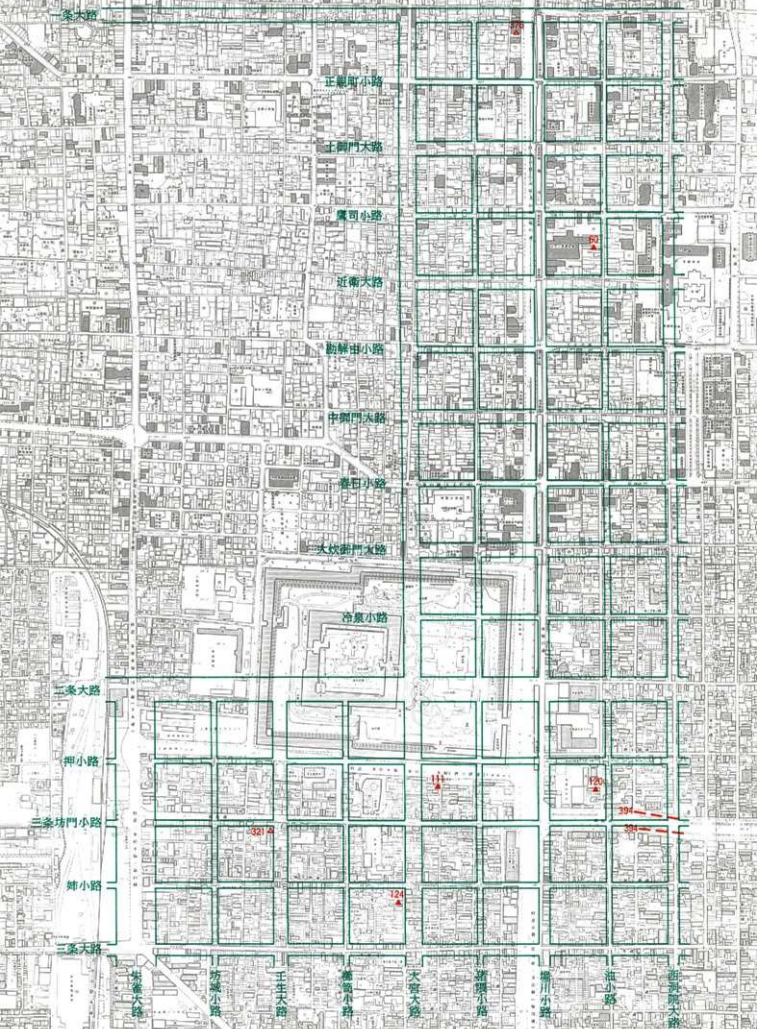
圖 面



### 凡 例

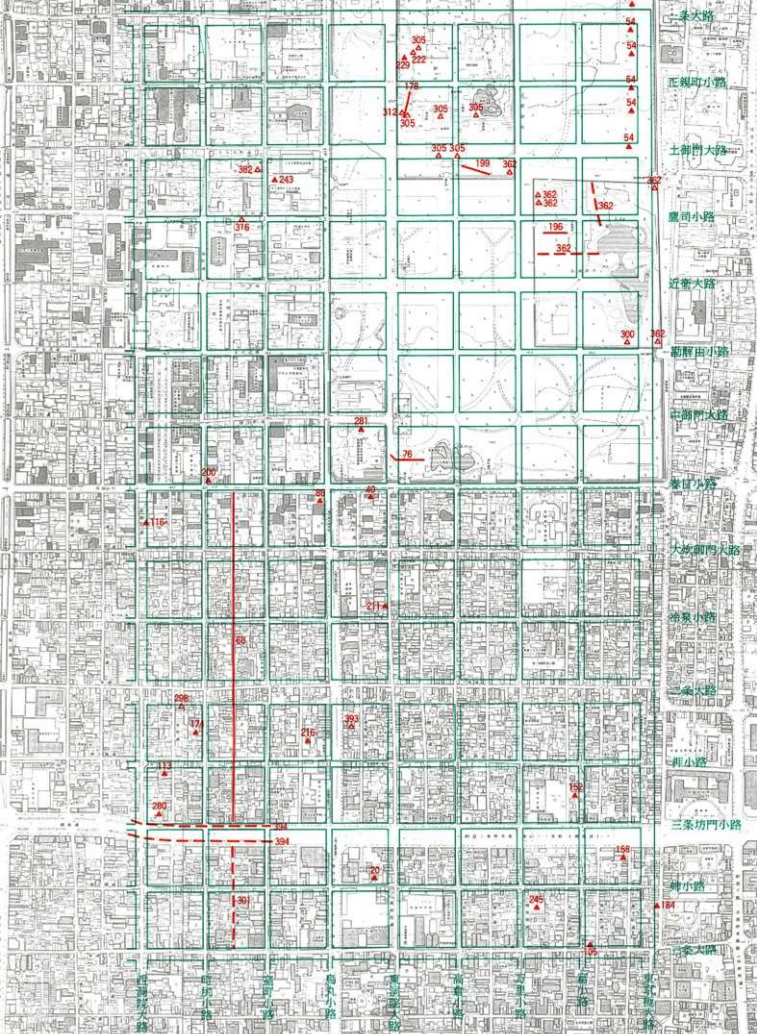
- △ — — 2001年1～3月期（平成12年度）立会調査地点  
▲ — — 2001年4～12月期（平成13年度）立会調査地点



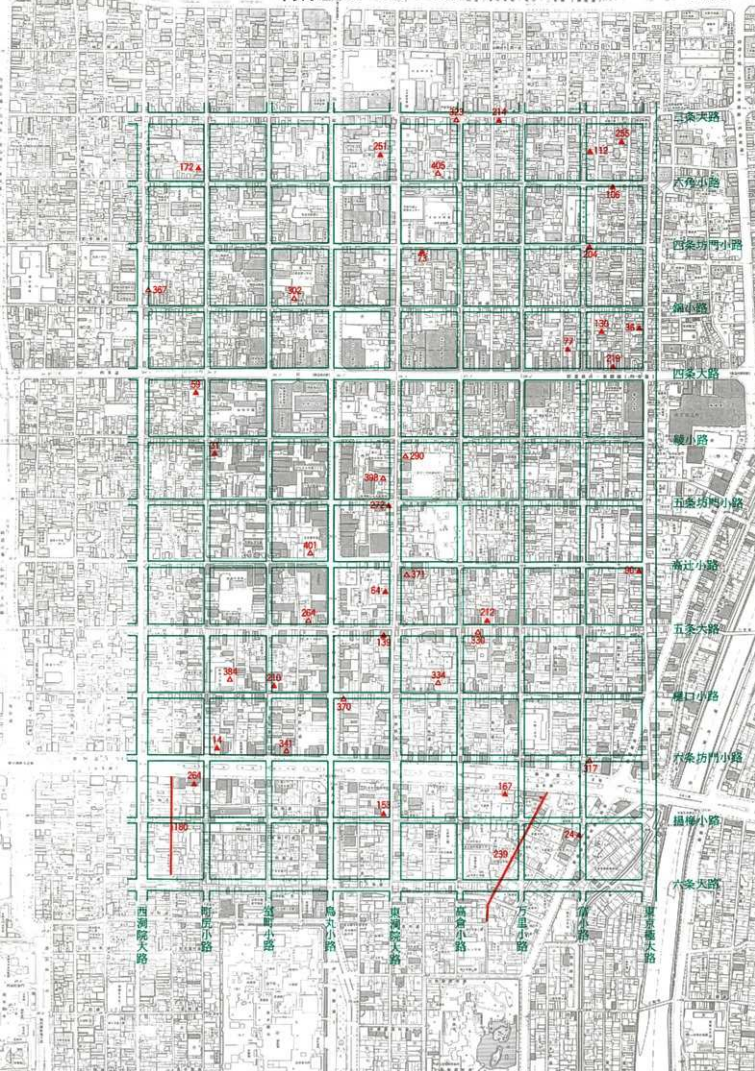


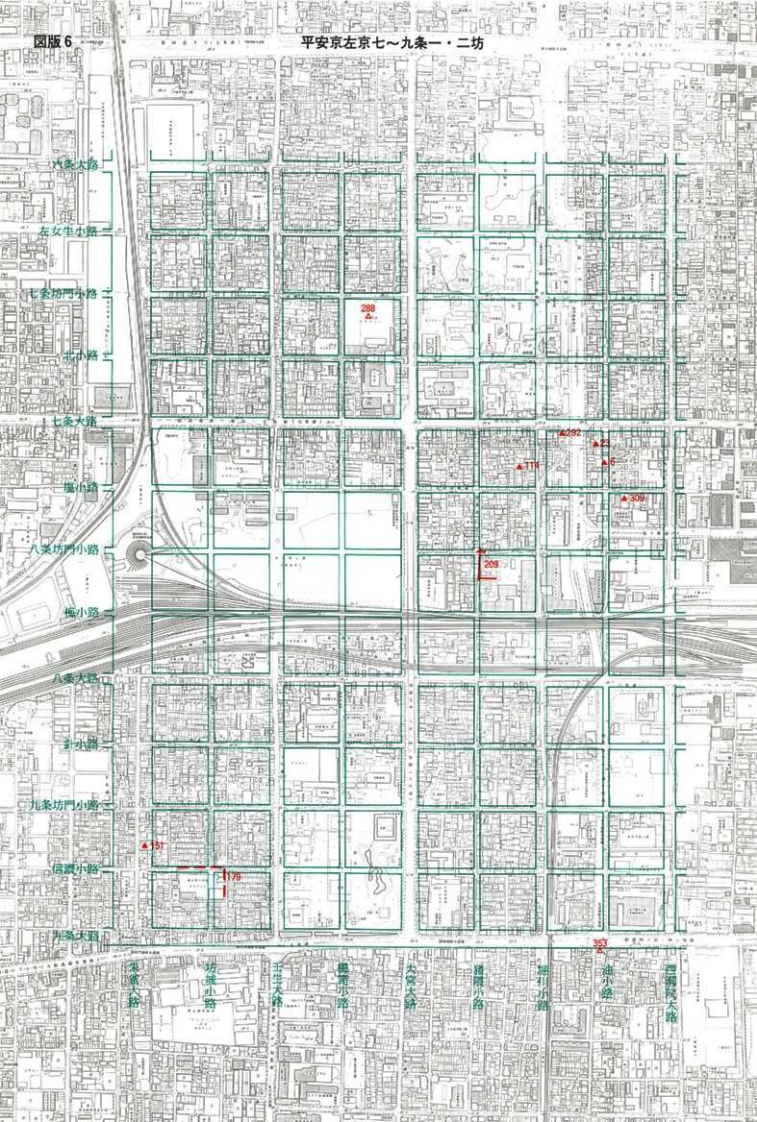
平安京左京北辺～三条三・四坊

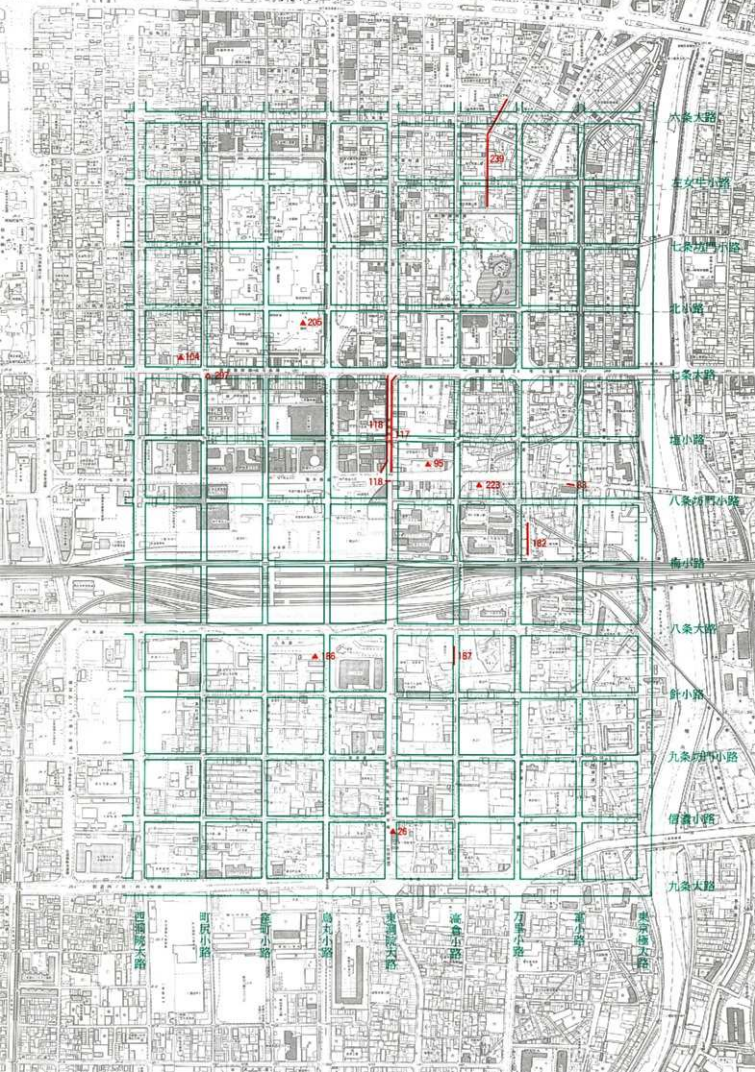
図版 3



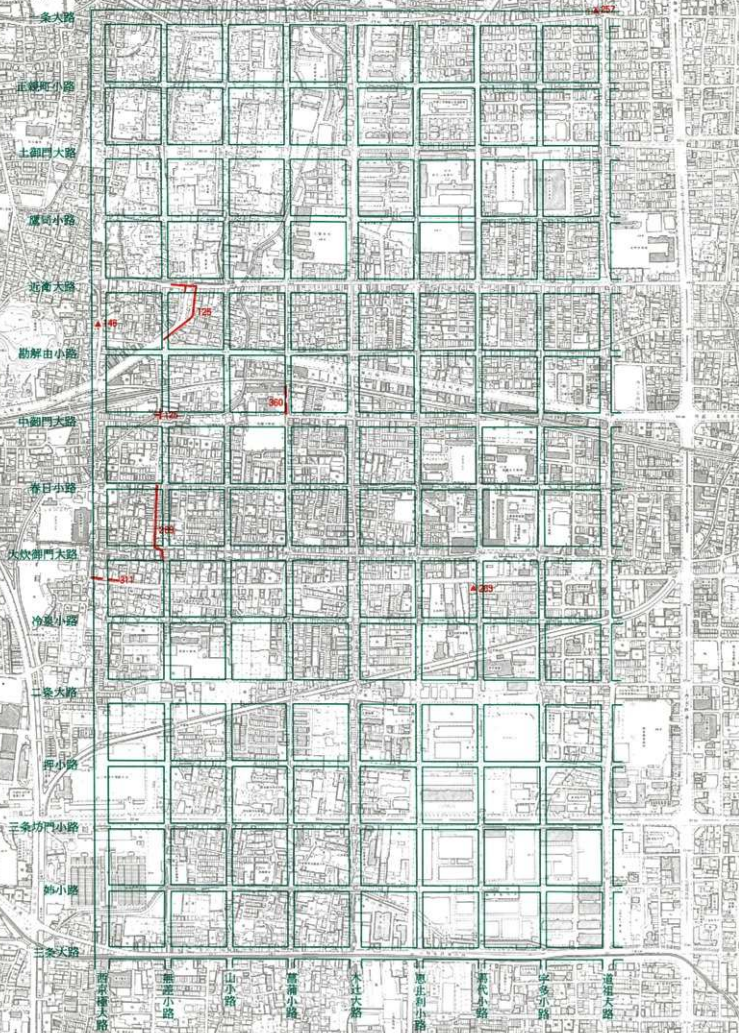


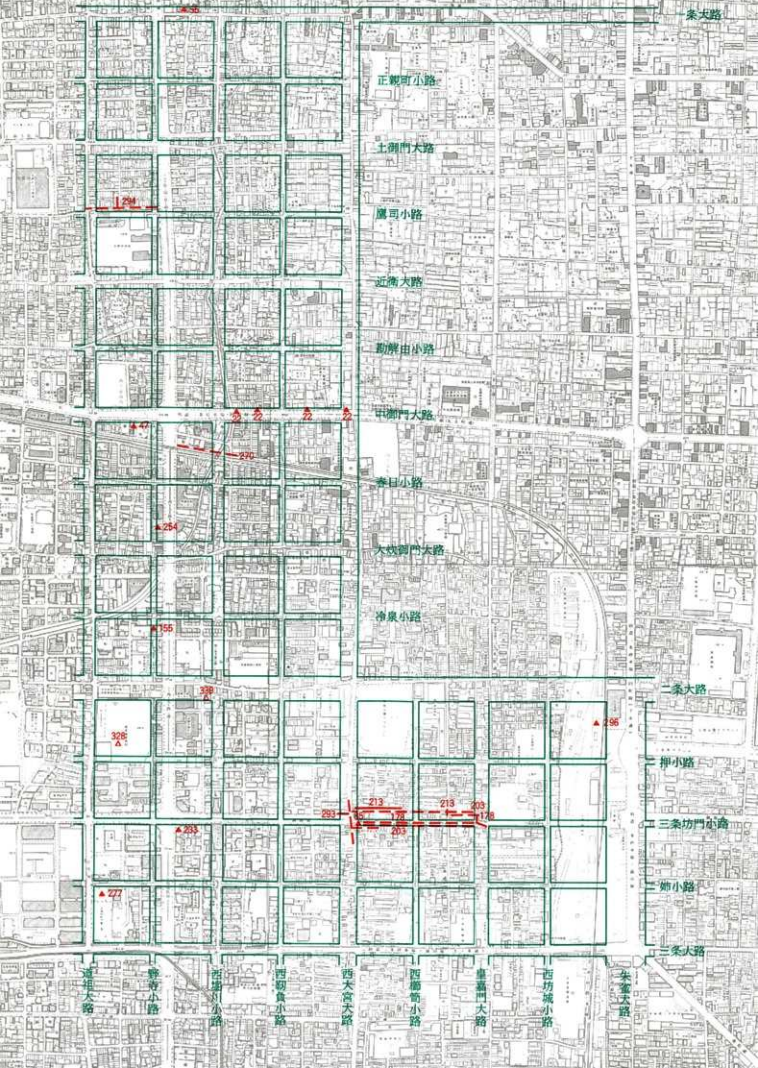












正親町小路

土御門大路

鷹司小路

近衛大路

勸修寺小路

中御門大路

春日小路

大炊御門大路

冷泉小路

一条大路

押小路

三条坊門小路

柳小路

一条大路

遠祖大路

尊壽小路

西堀引小路

西堀負小路

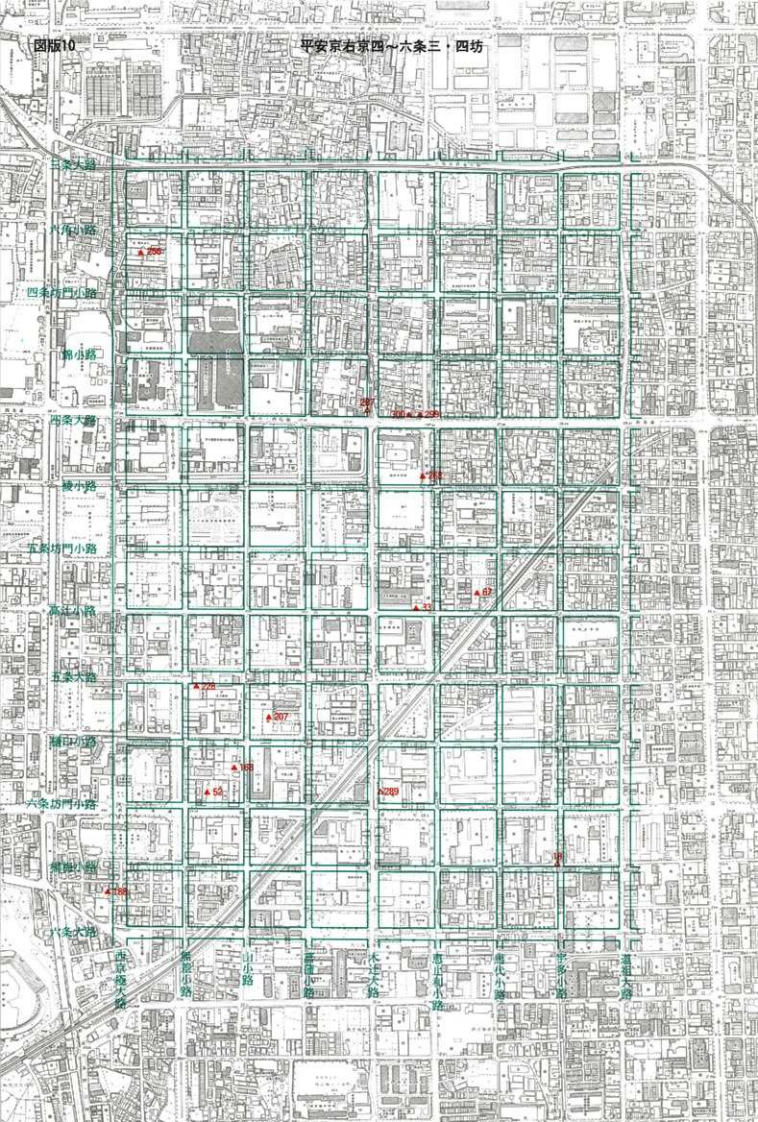
西大宮大路

西柳橋小路

藤原門大路

西坊城小路

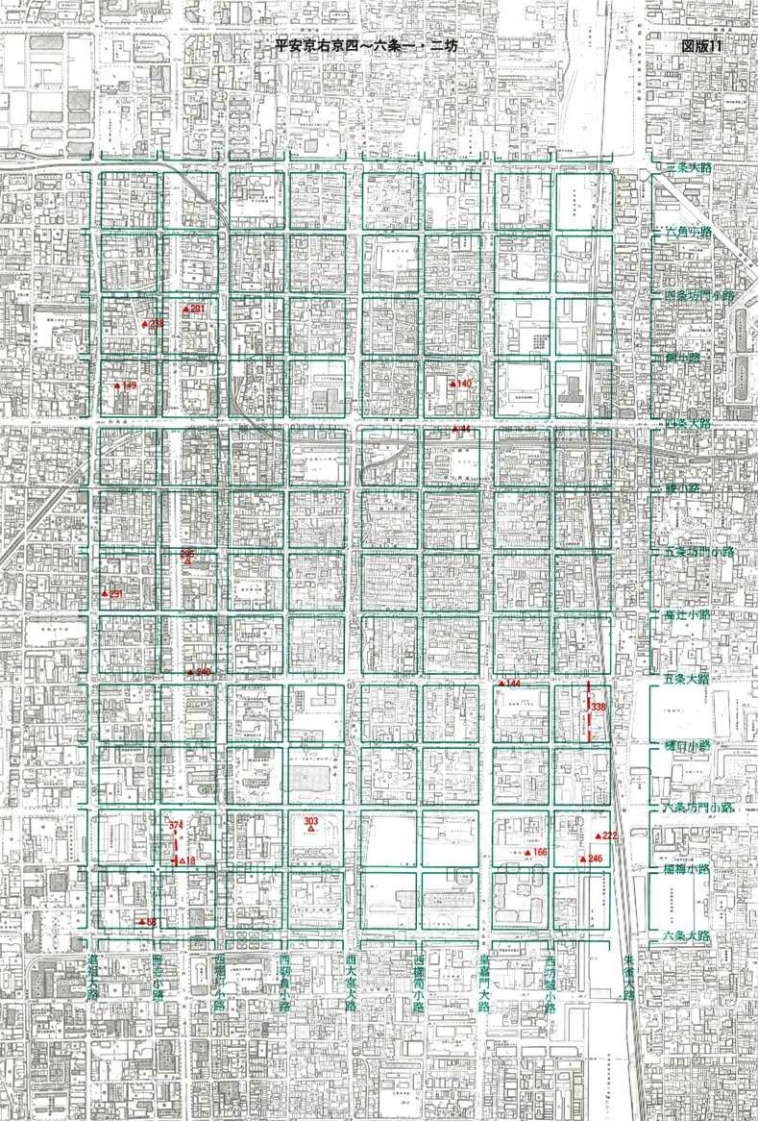
朱雀大路

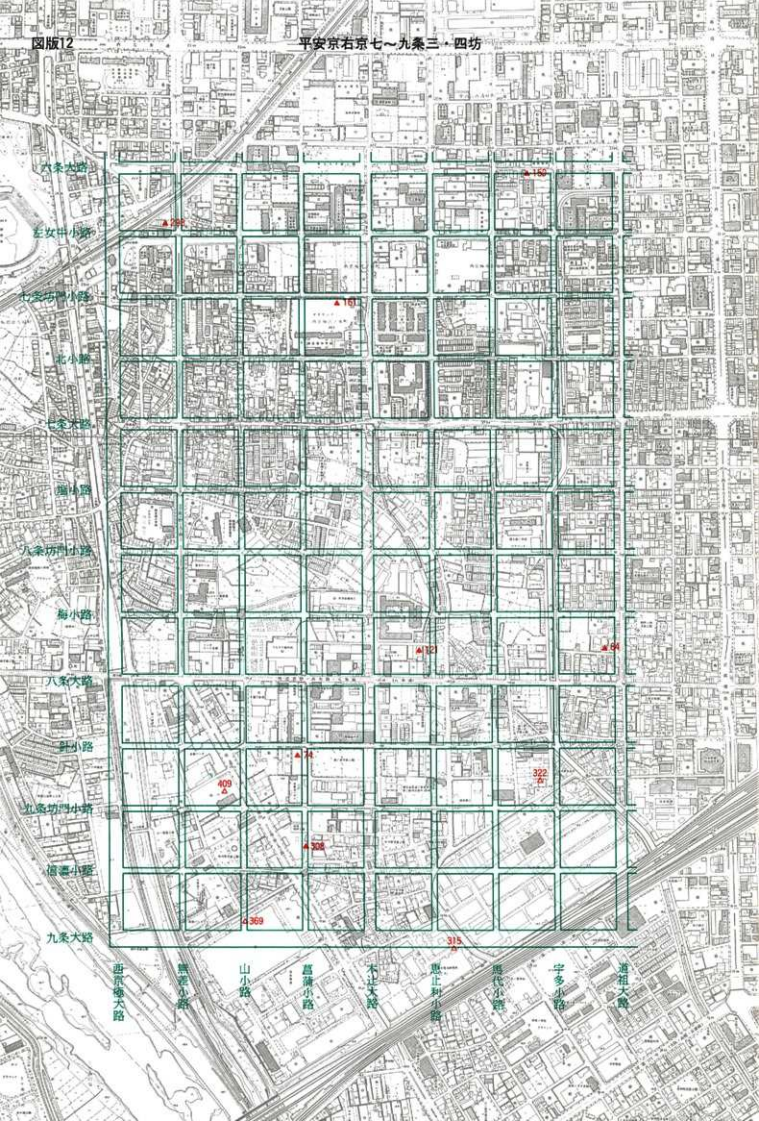


三条大路  
 八角小路  
 四条坊門小路  
 箱小路  
 四条大路  
 被小路  
 五段坊門小路  
 高辻小路  
 五条大路  
 藤田小路  
 六条坊門小路  
 熊野小路  
 六条大路

西京極大路  
 新羅小路  
 山小路  
 高橋小路  
 木辻大路  
 惠正和小路  
 海代小路  
 平多小路  
 蓮組大路

▲256  
 ▲257  
 ▲258  
 ▲259  
 ▲260  
 ▲261  
 ▲262  
 ▲263  
 ▲264  
 ▲265  
 ▲266  
 ▲267  
 ▲268  
 ▲269  
 ▲270  
 ▲271  
 ▲272  
 ▲273  
 ▲274  
 ▲275  
 ▲276  
 ▲277  
 ▲278  
 ▲279  
 ▲280  
 ▲281  
 ▲282  
 ▲283  
 ▲284  
 ▲285  
 ▲286  
 ▲287  
 ▲288  
 ▲289  
 ▲290  
 ▲291  
 ▲292  
 ▲293  
 ▲294  
 ▲295  
 ▲296  
 ▲297  
 ▲298  
 ▲299  
 ▲300  
 ▲301  
 ▲302  
 ▲303  
 ▲304  
 ▲305  
 ▲306  
 ▲307  
 ▲308  
 ▲309  
 ▲310  
 ▲311  
 ▲312  
 ▲313  
 ▲314  
 ▲315  
 ▲316  
 ▲317  
 ▲318  
 ▲319  
 ▲320  
 ▲321  
 ▲322  
 ▲323  
 ▲324  
 ▲325  
 ▲326  
 ▲327  
 ▲328  
 ▲329  
 ▲330  
 ▲331  
 ▲332  
 ▲333  
 ▲334  
 ▲335  
 ▲336  
 ▲337  
 ▲338  
 ▲339  
 ▲340  
 ▲341  
 ▲342  
 ▲343  
 ▲344  
 ▲345  
 ▲346  
 ▲347  
 ▲348  
 ▲349  
 ▲350  
 ▲351  
 ▲352  
 ▲353  
 ▲354  
 ▲355  
 ▲356  
 ▲357  
 ▲358  
 ▲359  
 ▲360  
 ▲361  
 ▲362  
 ▲363  
 ▲364  
 ▲365  
 ▲366  
 ▲367  
 ▲368  
 ▲369  
 ▲370  
 ▲371  
 ▲372  
 ▲373  
 ▲374  
 ▲375  
 ▲376  
 ▲377  
 ▲378  
 ▲379  
 ▲380  
 ▲381  
 ▲382  
 ▲383  
 ▲384  
 ▲385  
 ▲386  
 ▲387  
 ▲388  
 ▲389  
 ▲390  
 ▲391  
 ▲392  
 ▲393  
 ▲394  
 ▲395  
 ▲396  
 ▲397  
 ▲398  
 ▲399  
 ▲400





六条大路

左女中小路

七条坊門小路

北小路

七条大路

堀内路

八条坊門小路

每小路

八条大路

野小路

北条坊門小路

福壽小路

九条大路

西京極大路

無差小路

山小路

昌壽小路

木止大路

患止町小路

馬代小路

字多小路

道祖大路

▲298

▲150

▲161

▲121

▲94

▲400

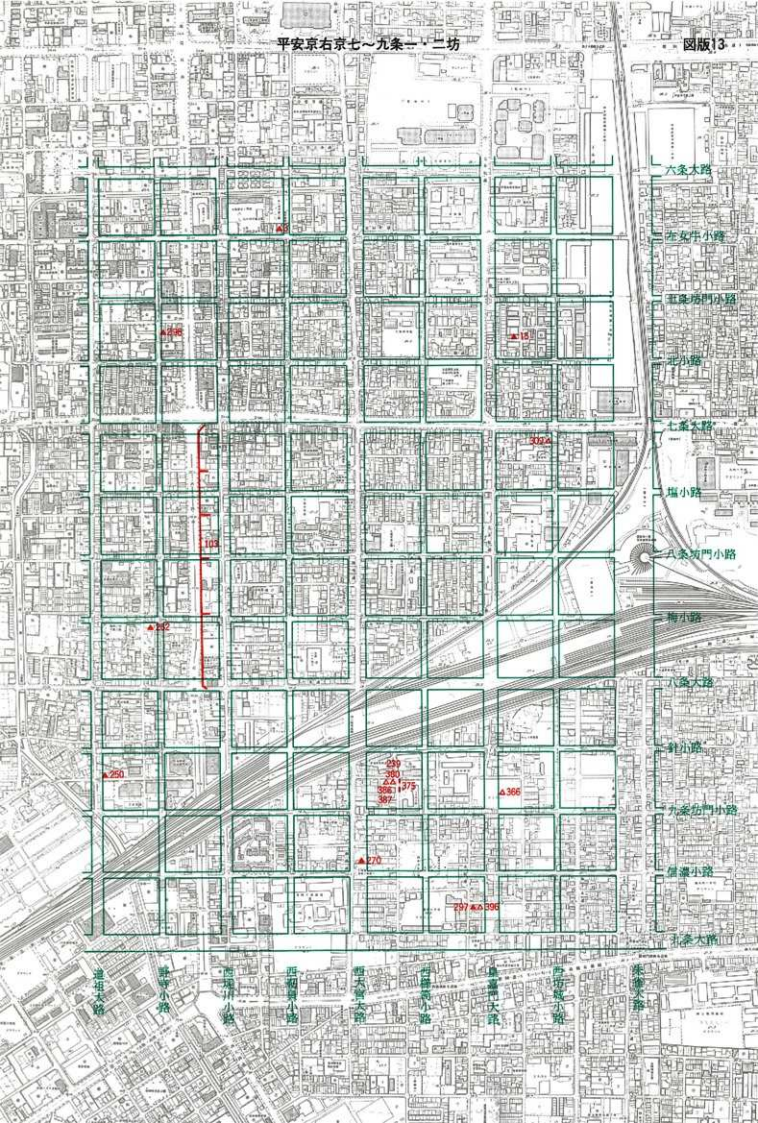
▲44

▲322

▲308

▲369

▲315



六条大路

左女牛小路

五条坊門小路

北小路

七条大路

堀小路

八条坊門小路

堀小路

八条大路

鏡小路

九条坊門小路

信濃小路

九条大路

道垣大路

寺町小路

西堀川小路

西初界小路

西大宮大路

西御所小路

皇宮門大路

西坊門小路

東堀川大路

100

▲268

▲15

302

▲250

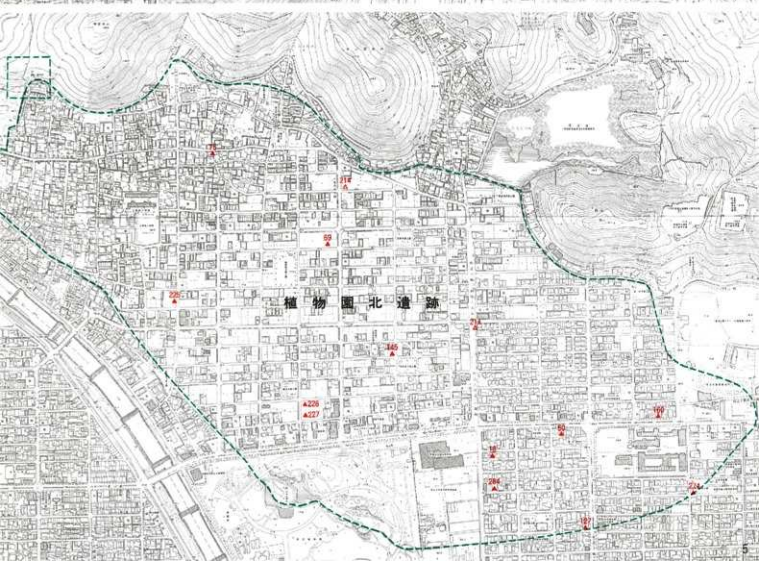
▲270

▲366

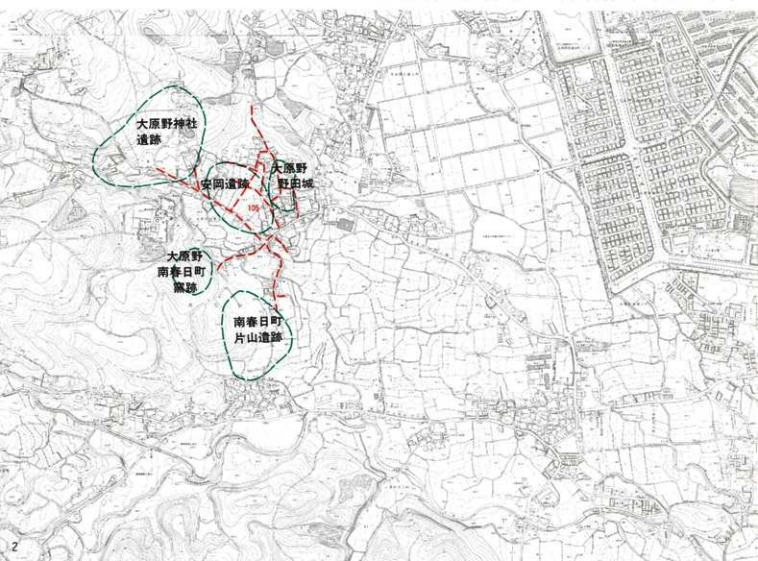
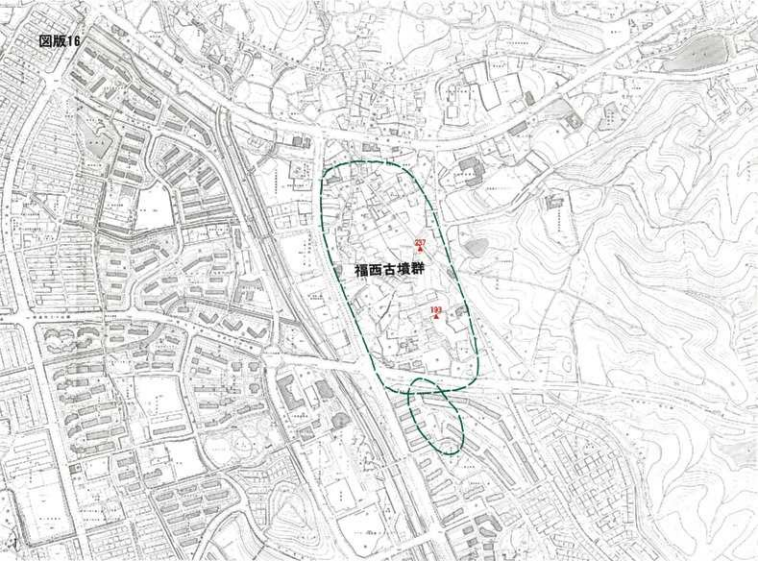
330  
300  
▲▲ 375  
380  
367

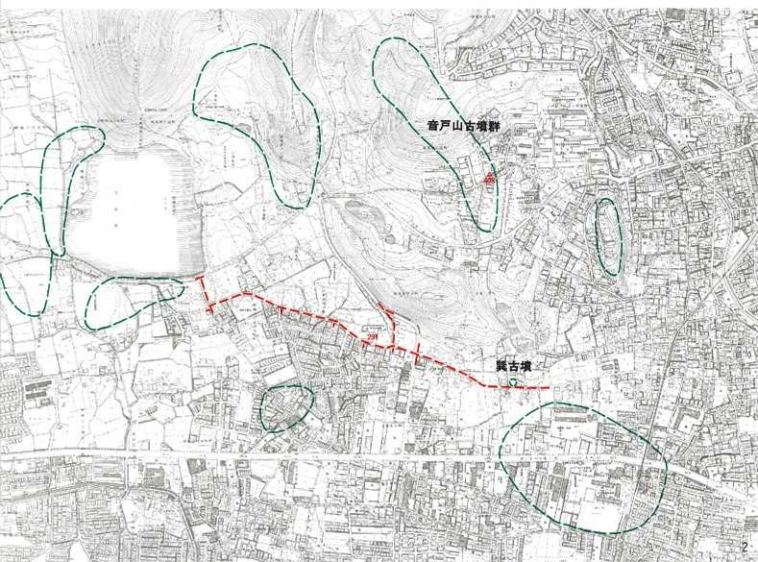
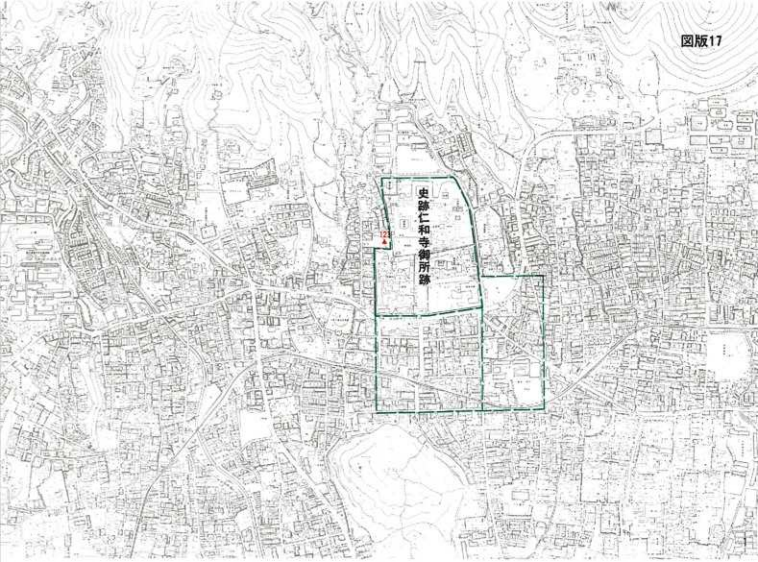
297 ▲ 396

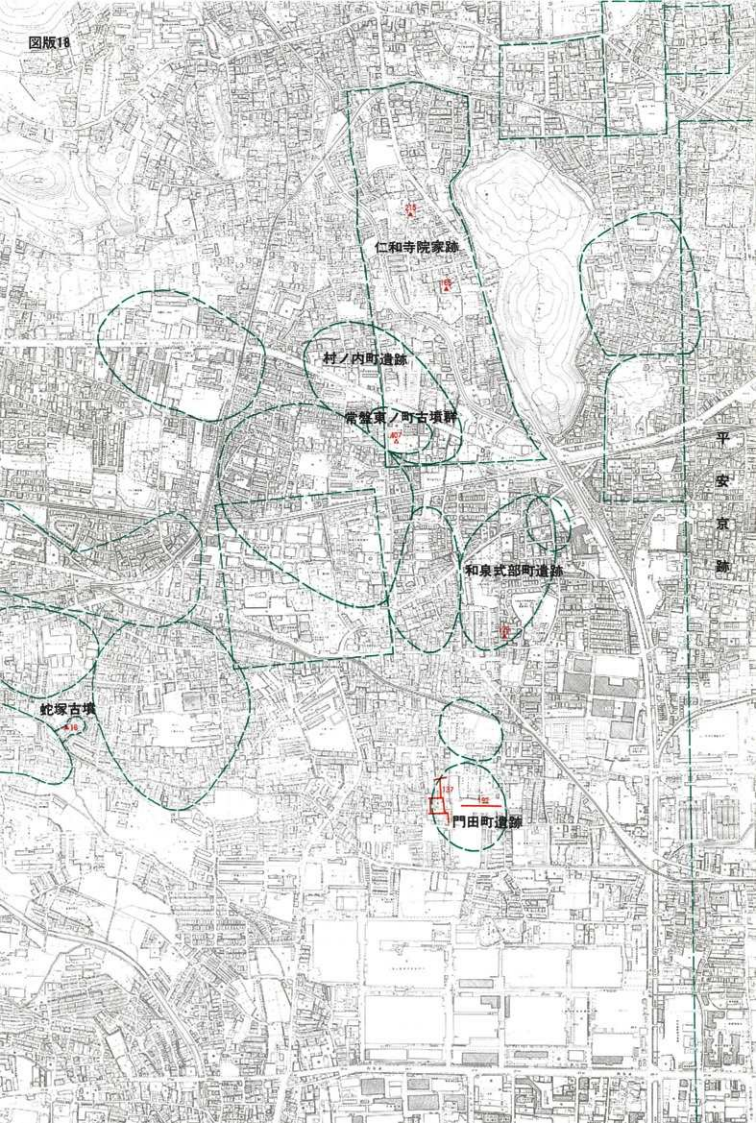












仁和寺院家跡

村ノ内町遺跡

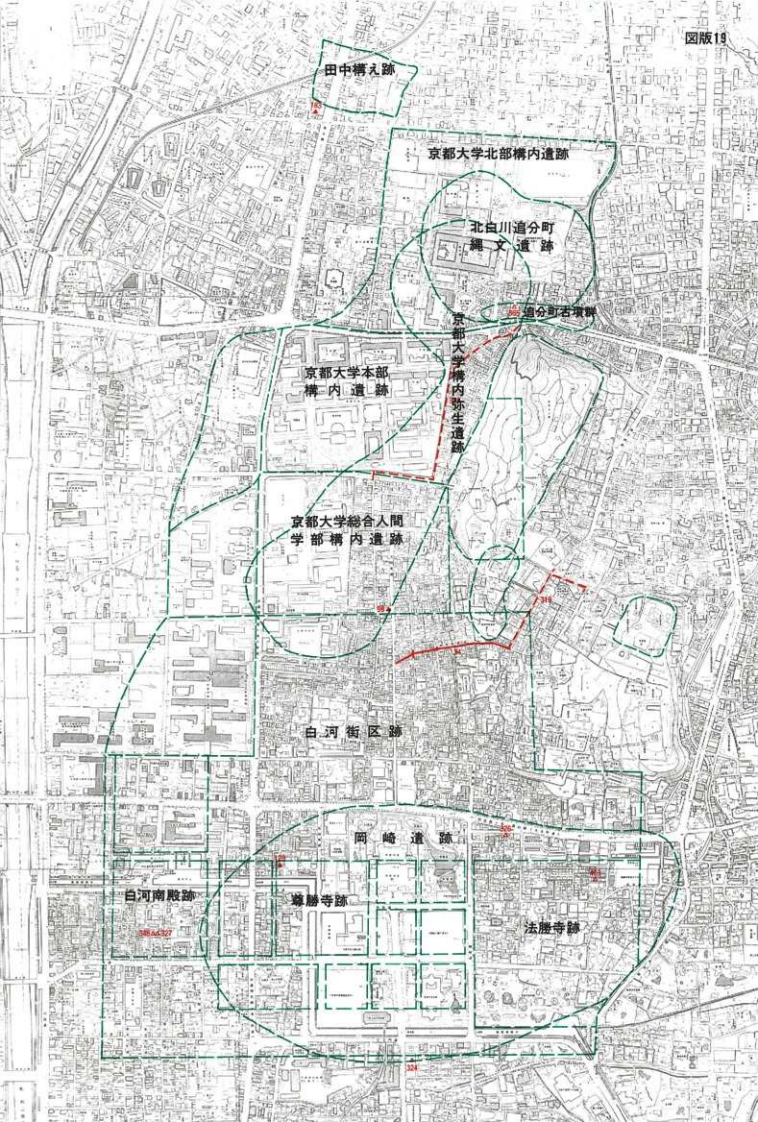
常盤東ノ町古墳群

和泉式部町遺跡

蛇塚古墳

門田町遺跡

平安京跡



田中構入跡

京都大学北部構内遺跡

北白川追分町  
縄文遺跡

追分町石垣跡

京都大学本部  
構内遺跡

京都大学  
構内弥生遺跡

京都大学総合人間  
学部構内遺跡

白河街区跡

岡崎遺跡

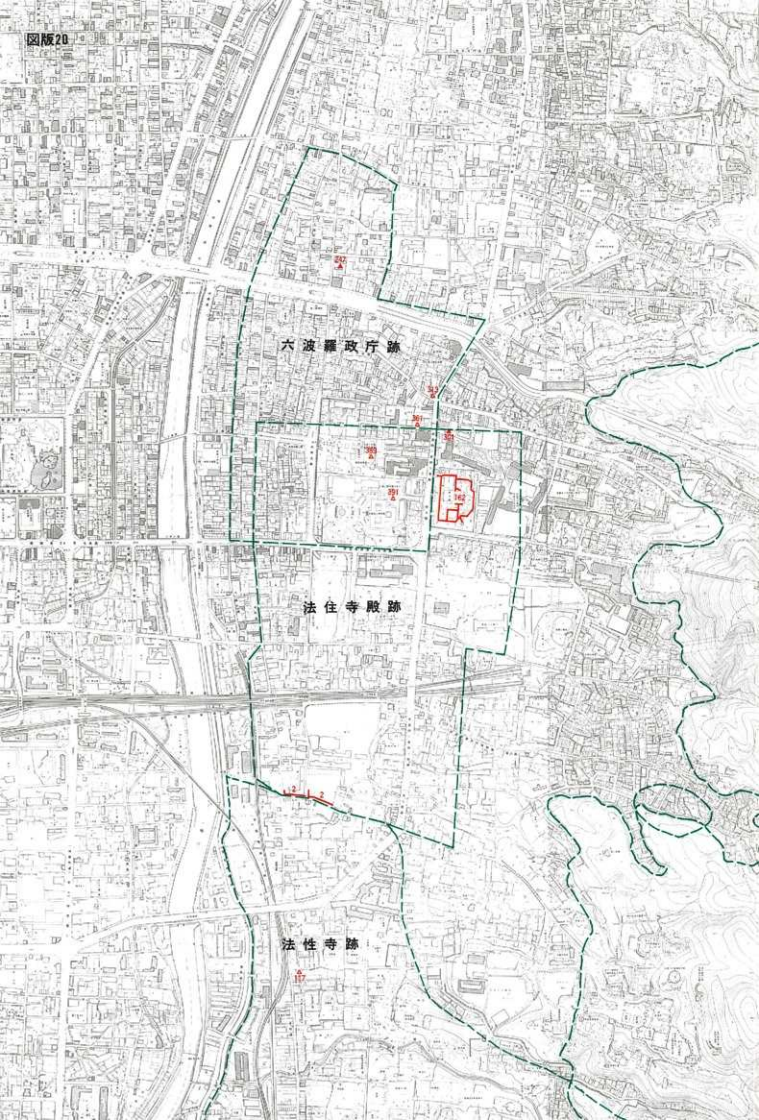
白河南殿跡

尊勝寺跡

法勝寺跡

318 AC107

324



六波羅政庁跡

法住寺殿跡

法性寺跡



平安京跡

烏丸町遺跡



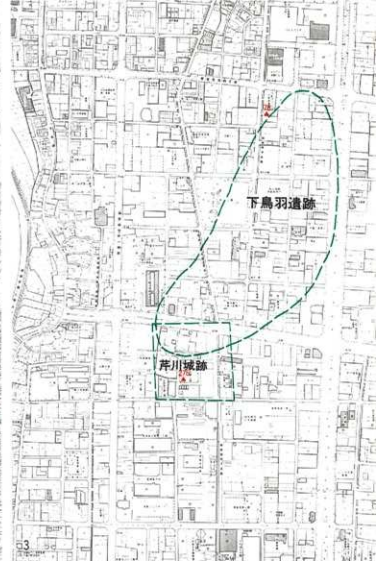
平安京跡

唐橋遺跡



下鳥羽遺跡

芹川城跡



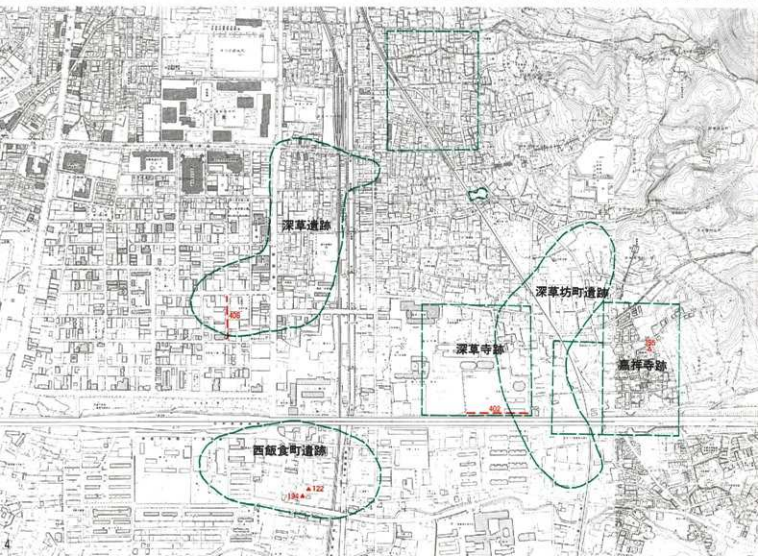
深草遺跡

深草坊町遺跡

深草寺跡

高禪寺跡

西飯食町遺跡





上鳥羽遺跡

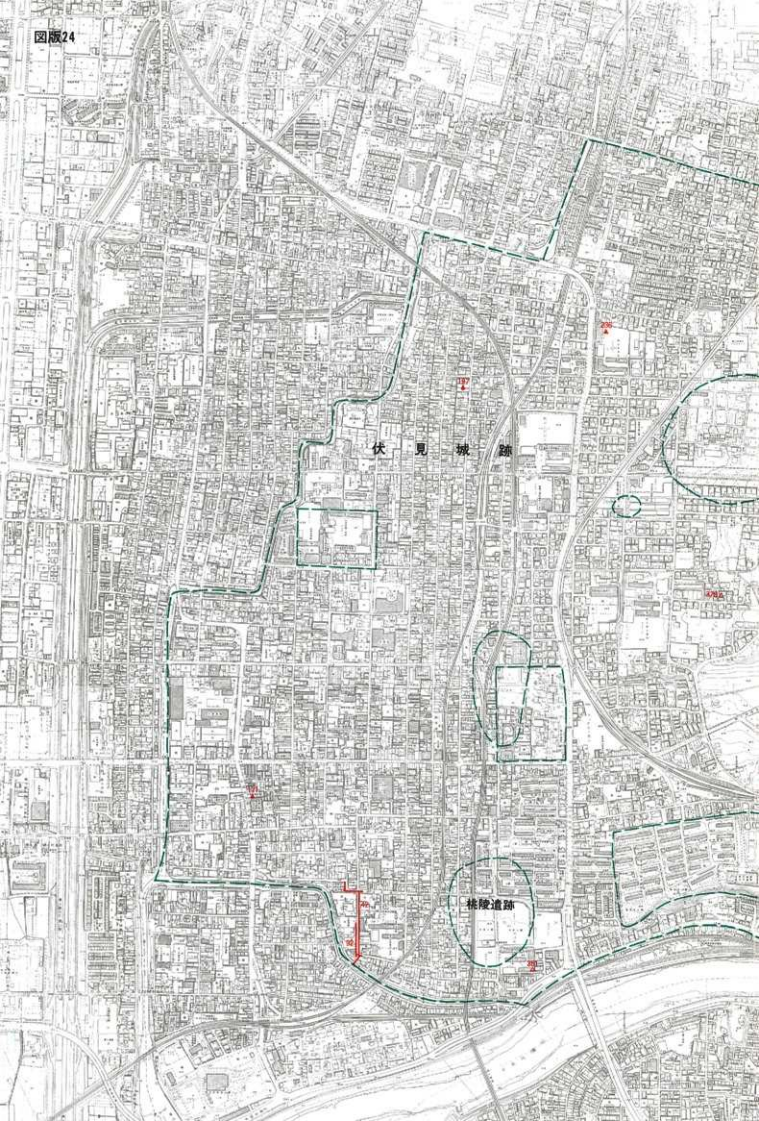
上鳥羽城跡

鳥羽離宮跡

鳥羽遺跡

鳥羽遺跡

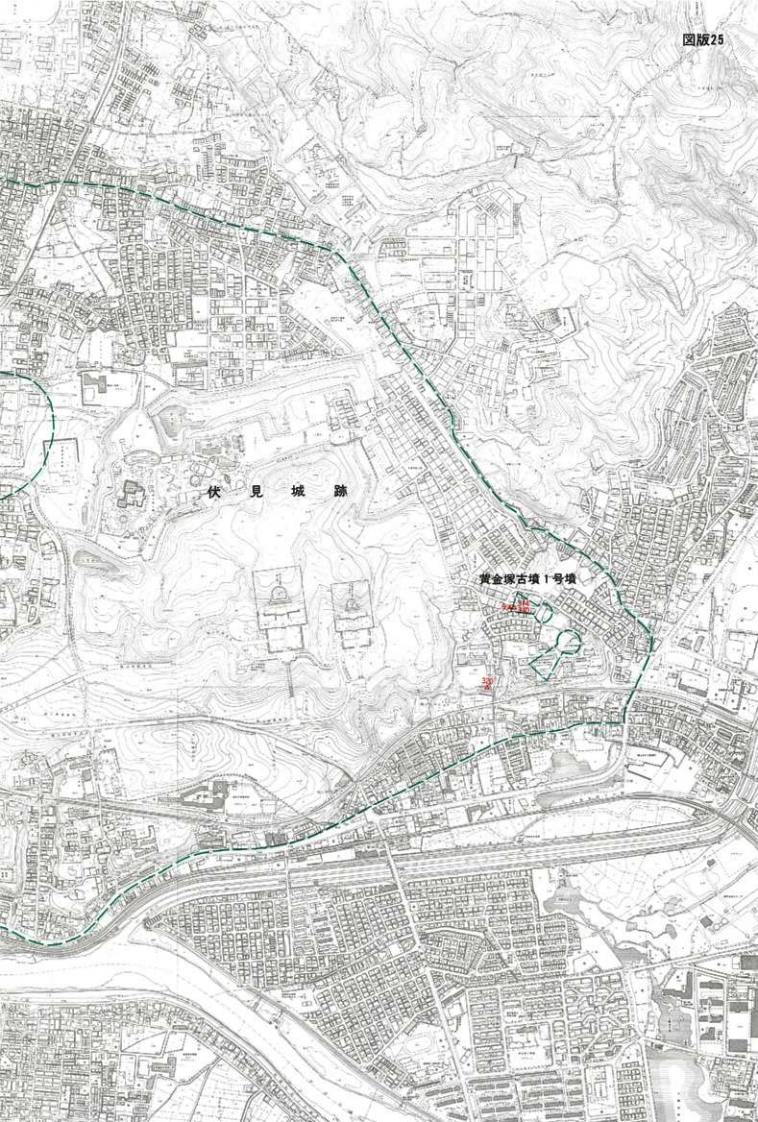




伏見城跡

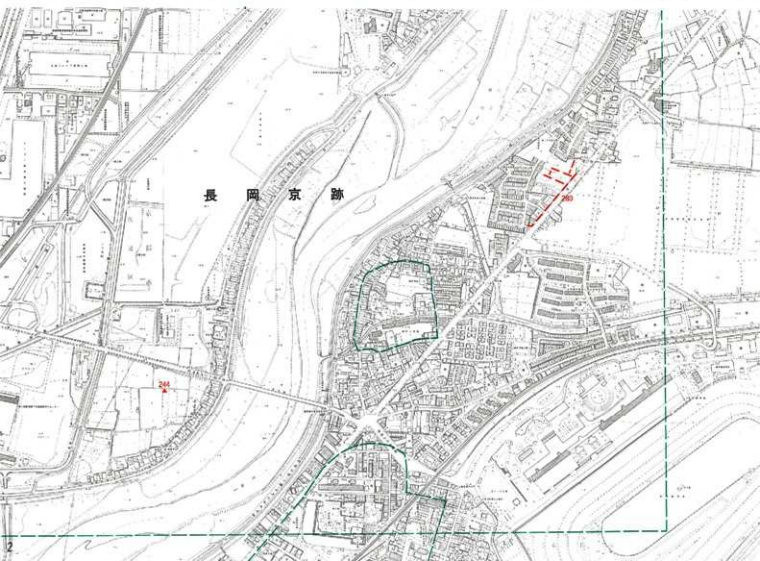
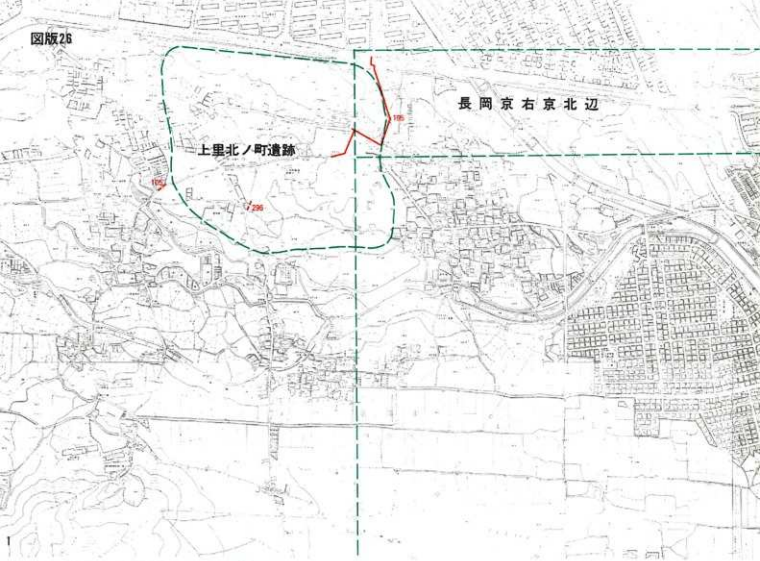
桃陵遺跡

30  
40



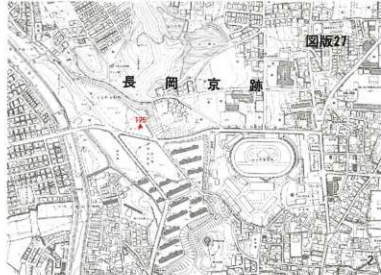
伏見城跡

黄金塚古墳1号墳





小野廣寺



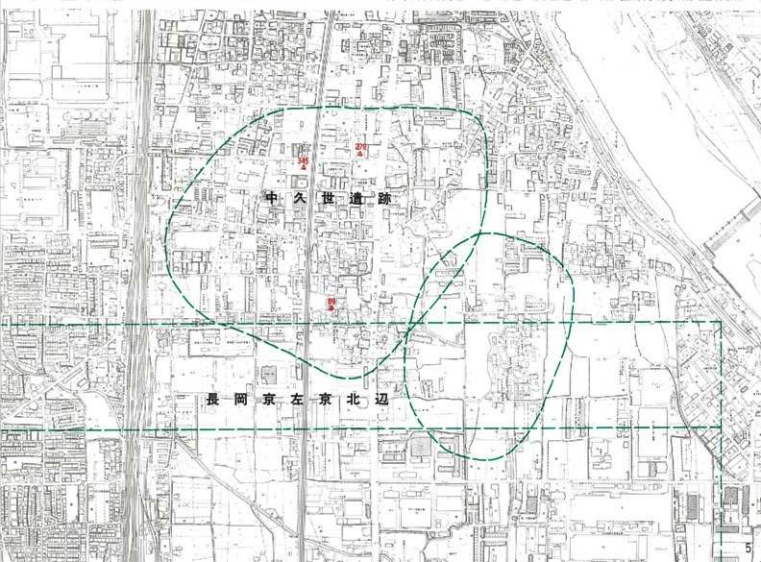
長岡京跡



上久世遺跡



向島城跡



中久世遺跡

長岡京左京北辺



東土川遺跡

長岡京跡

写 真



1



2



3



5



6



7



8

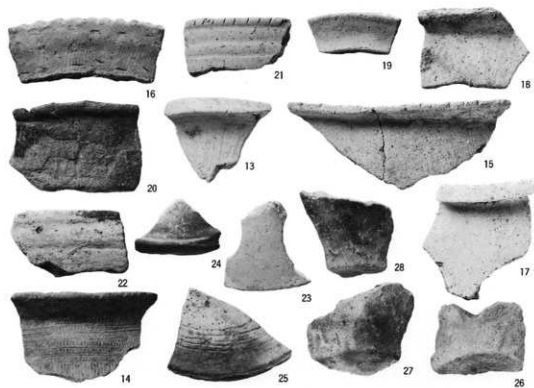


11



12

00HQ299墨書緑釉陶器(1)、01HL14出土遺物(2-7)、01HR125高杯(8)、01HR207出土土器(11・12)



弥生土器 (13~28)



弥生土器壺 (29)

石斧 (30)



## 京都市内遺跡立会調査概報

平成13年度

発行日 2002年3月31日  
発行 京都市文化市民局  
住所 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488  
編集 00京都市埋蔵文化財研究所  
住所 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1  
TEL (075) 415-0521  
印刷 真 臨 社